

食育に関するアンケート調査について

1 目 的

「いわき市食育推進計画」(以下「計画」という。)の数値目標(資料 5-2 参照)のうち、既存事業等において現状値及び達成度の把握が困難な項目等について、アンケート調査を実施し、その結果を分析することにより、計画の進行管理及び評価に資する。

2 調査項目

- (1) 身長、体重
- (2) 職業
- (3) 家族構成
- (4) 朝食を食べる市民の割合
- (5) 朝食を家族と一緒に食べる市民の割合(家族と同居している方のみ)
- (6) 夕食を家族と一緒に食べる市民の割合(家族と同居している方のみ)
- (7) 食事を楽しそうにしている市民の割合(15 歳以下のみ)
- (8) 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合
- (9) メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合
- (10) 噛み方等の食べ方に関心がある市民の割合(16 歳以上のみ)
- (11) よく噛んで味わって食べることを実践している市民の割合
- (12) 食育に関心を持っている市民の割合(16 歳以上のみ)
- (13) 食事のあいさつをしている市民の割合(15 歳以下のみ)
- (14) 食事の準備や後片付けを手伝っている市民の割合(15 歳以下のみ)
- (15) 食文化を知っている市民の割合(15 歳以下のみ)
- (16) 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合(16 歳以上のみ)
- (17) 食品の安全性に関する基礎知識を持っている市民の割合(16 歳以上のみ)
- (18) 食物アレルギーについての知識を持っている市民の割合(16 歳以上のみ)
- (19) 外食や食品を購入する際に、栄養成分表示を参考にする市民の割合(16 歳以上のみ)
- (20) 自分で料理する機会が週に1回以上ある市民の割合(16 歳以上のみ)
- (21) 食文化を大切にしている市民の割合(16 歳以上のみ)
- (22) 食育の取組みで取り入れているもの・取り入れたいもの(16 歳以上のみ)
- (23) 日頃の食生活の中で不安を感じていること
- (24) 農林漁業体験を経験した市民の割合

3 調査対象

(1) 母集団

年齢層を乳幼児期、学童・思春期、青年期、壮年期、高齢期の5つの世代に分け、計2,500人を回答者として無作為に選出した。

(2) 標本数

乳幼児期、学童・思春期、青年期、壮年期、高齢期の各世代 500 人ずつとし、合計2,500人。

4 調査方法

郵送によるアンケート

5 調査結果

アンケート調査の結果については、市ホームページ等により公表する。

《15 歳以下の方用》

平成 25 年 5 月

市民各位

いわき市長 渡辺 敬夫

「いわき市食育推進計画」見直しに係る食育に関するアンケート調査について（依頼）

本市においては、「食を通じて、市民一人ひとりが生涯にわたって、健やかで、こころ豊かに楽しく生活できるまちづくり」の実現を図るため、平成 21 年 3 月に「いわき市食育推進計画」を策定し、これに基づき食育推進事業を進めて参りました。このような中、本計画が、平成 25 年度をもって最終年度を迎えることから、計画策定から現在に至るまでの市民の方々ににおけるニーズや課題を整理し、第 2 次計画策定時の参考としたいと考えておりますので、次のとおりアンケート調査に御協力くださるようお願いします。

【アンケート記入にあたって】

1 対象者

年齢層を＜乳幼児期＞＜学童・思春期＞＜青年期＞＜壮年期＞＜高齢期＞の 5 つの世代に分け、計 2,500 人の方を回答者として無作為に選出させていただきました。

対象者を機械的に選出しているため、傷病・疾病等により回答が困難な方に送付されていることがあります。御容赦ください。また、その際は身近な方が代筆してください。

2 個人情報保護

本アンケートは、市が保有する個人情報の適正な取扱いについて定めた「いわき市個人情報保護条例」に基づき、実施しています。無記名でお答えいただきますので、回答者が特定されることはございません。また、調査結果につきましては、本調査以外には用いません。

3 回答方法

(1)本アンケート用紙は、16 歳未満のお子さんのいる世帯に送付させていただいております。記入については、お子さんの日頃の食生活に関することを、保護者の方が記入してください。

(2)無記名で回答ください。返信用封筒も同様です。

(3)記入が終わりましたら、内容を御確認の上、本票を同封の返信用封筒に入れ、

平成 25 年 5 月 30 日（木）まで に御投函ください。

4 お問合せ先

この調査について御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

アンケート調査実施主体：いわき市 保健所 地域保健課 健康増進係

電話 (27) 8594

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田 191 番地

《15 歳以下の方用》

平成 25 年 5 月

あてはまるものの番号に○をしてください。

(例) 問1 お子さんの性別を教えてください。

- ①. 男 2. 女

◎ 16 歳未満の方については、保護者の方が代わりにお子さんのことについて記入してください。

問1 お子さんの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

問2 お子さんの年齢をご記入ください。(平成 25 年 4 月 1 日現在の年齢)

満 [] 歳

問3 お子さんの身長と体重をご記入ください。

1. 身長 [.] cm 2. 体重 [.] kg

問4 現在、お子さんは次のうちどれにあてはまりますか。

1. 保育園、幼稚園 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生
5. その他

問5 お子さんの家族構成(世帯)は次のどれにあてはまりますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 親と子ども、二世代からなる家族
2. 親と子ども、祖父母等の三世代、あるいはそれ以上の家族
3. その他 ()

◎資料 1 を読んで、該当するものを1つ選んで○をつけてください。(問6～8)

資料 1 「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミンしか摂らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問6 お子さんは、普段朝食を食べますか。1つ選んで○をつけてください。

1. ほとんど毎日食べる 2. 週4～5日食べる 3. 週2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問7 お子さんは、朝食を家族の誰かと一緒に食べていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. いつも一緒に食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問8 お子さんは、夕食を家族の誰かと一緒に食べていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. いつも一緒に食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問9 お子さんは、食事の時間を楽しそうにしていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば楽しくない 5. 楽しくない

◎資料2を読んで、該当するものを1つ選んで○をつけてください。(問10)

資料2 「主食」：ごはんやパン、めん類などの穀類で、糖質エネルギーの供給源となるもの
「主菜」：魚や肉、卵、大豆製品など、たんぱく質や脂質の供給源となる副食（おかず）
「副菜」：野菜や海藻を中心とした、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う副食（おかず）

問 10 お子さんは、主食・主菜・副菜を三つそろえて食べることが、1 日に 2 回以上あるのは、週に何日ありますか。 1 回選んで○をつけてください。

1. ほとんど毎日食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問 11 あなたは、お子さんの健康のために、適切な食事をさせていますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 実践して、半年以上継続している 2. 実践しているが、半年未満である
3. 時々気をつけているが、継続的ではない 4. 現在していないが、近いうちにしようと思っている
5. 現在していないし、しようとも思わない

問 12 あなたは、お子さんの健康のために、 定期的（適度）な運動をさせていますか。 1 つ選んで
○をつけてください。

1. 実践して、半年以上継続している 2. 実践しているが、半年未満である
3. 時々気をつけているが、継続的ではない 4. 現在していないが、近いうちにしようと思っている
5. 現在していないし、しようとも思わない

問 13 あなたは、お子さんの健康のために、**定期的な体重計測**をさせていますか。1 つ選んで○をつけてください。

1. 実践して、半年以上継続している 2. 実践しているが、半年未満である
3. 時々気をつけているが、継続的ではない 4. 現在していないが、近いうちにしようと思っている
5. 現在していないし、しようとも思わない

問 14 お子さんは、いだんの食生活において、よく噛んで、味わって食べていますか？
1 つ選んで○をつけてください。

1. 食べている 2. どちらかといえば食べている
3. どちらかといえば食べていない 4. 食べていない 5. わからない

問 15 お子さんは、食事のあいさつをしていますか。
あてはまるもの**全て**に○をつけてください。

1. 「いただきます」のあいさつをしている
2. 「ごちそうさま」のあいさつをしている
3. 食事の感想やねぎらいの言葉（ありがとう、おいしいなど）を発言している
4. その他のあいさつをしている（内容： ）
5. あいさつはしていない

問 16 お子さんは、食事の準備や後片付け等を積極的に手伝っていますか。

1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 積極的に行っている | 2. どちらかといえば行っている |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば行っていない |
| 5. 行っていない | |

問 17 お子さんは、伝統食や行事食及び食事のマナーなどを含めた食文化を知っていますか。

1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. よく知っている | 2. どちらかといえば、知っている |
| 3. どちらかといえば、知らない | 4. 知らない |

問 18 あなたは、日頃、お子さんの食生活の中で悩みや不安はありますか。

悩みや不安を感じていれば、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|---|---------------|---------------|
| 1. 健康について | 2. 食事のマナーについて | 3. 食文化の継承について |
| 4. 食品の安全性について | | |
| [4-① 農薬 4-② 食品添加物 4-③ BSE | | |
| [4-④ 食中毒 4-⑤ 放射性物質 4-⑥ その他（ ）] | | |
| 5. 悩みや不安は感じていない | | |
| 6. その他（ ） | | |

問 19 お子さんは、次のような農林漁業体験に参加したことがありますか？あてはまるもの全てに○をつけてください。（※農林漁業体験とは、農林漁業者、市、地域、学校等による農林漁業体験や民間のツアーによる体験のこと。）

1. 農業体験（田植え、野菜づくり、農作物の収穫など）
2. 酪業の体験（牛などの乳しぼり、牛や豚などの世話など）
3. 漁業の体験（地引網体験、漁船乗船や海産物の収穫体験）
4. その他の収穫体験（果物狩り、潮干狩り、つりなど）
5. 食品工場や農作物加工工場の見学や体験学習
6. その他（ ）
7. 参加したことがない

問 20 いわき市では、原発事故に伴い、食の安全・安心を確保するため、水道水・井戸水を始めとした一般家庭の食事、学校給食（食材及び食事）、保育所給食（食材及び食事）、加工食品等について放射性物質の検査を実施しております。これまでの結果としては、食品安全基準値を超える事例は発生しておりません。今後も、これらの検査を継続して実施して参りますが、これらの取組みについてご意見等があればお寄せください。

問 21 いわき市の食育の推進に関しまして、ご意見等があればお寄せください。

以上でアンケートはおわりです。同封の返信用封筒に入れて返送してください。
ご協力ありがとうございました。

市民各位

いわき市長 渡辺 敬夫

「いわき市食育推進計画」見直しに係る食育に関するアンケート調査について（依頼）

本市においては、「食を通じて、市民一人ひとりが生涯にわたって、健やかで、こころ豊かに楽しく生活できるまちづくり」の実現を図るため、平成 21 年 3 月に「いわき市食育推進計画」を策定し、これに基づき食育推進事業を進めて参りました。このような中、本計画が、平成 25 年度をもって最終年度を迎えることから、計画策定から現在に至るまでの市民の方々におけるニーズや課題を整理し、第 2 次計画策定時の参考としたいと考えておりますので、次のとおりアンケート調査に御協力くださるようお願いいたします。

【アンケート記入にあたって】**1 対象者**

年齢層を＜乳幼児期＞＜学童・思春期＞＜青年期＞＜壮年期＞＜高齢期＞の 5 つの世代に分け、計 2,500 人の方を回答者として無作為に選出させていただきました。

対象者を機械的に選出しているため、傷病・疾病等により回答が困難な方に送付されていることがあります。御容赦ください。また、その際は身近な方が代筆してください。

2 個人情報保護

本アンケートは、市が保有する個人情報の適正な取扱いについて定めた「いわき市個人情報保護条例」に基づき、実施しています。無記名でお答えいただきますので、回答者が特定されることはございません。**問 4** については、就業状況等による食生活に対する意識の違い等を調査するために質問させていただきますので、御容赦ください。また、調査結果につきましては、本調査以外には用いません。

3 回答方法

- (1)御本人がお答えください。御本人が記入できない場合は、身近な方が代筆してください。
- (2)無記名で回答ください。返信用封筒も同様です。
- (3)記入が終わりましたら、内容を御確認の上、アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 5 月 30 日（木）まで に御投函ください。

4 お問合せ先

この調査について御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

アンケート調査実施主体：いわき市 保健所 地域保健課 健康増進係

電話 (27) 8594

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田 191 番地

あてはまるものの番号に○をしてください。

(例) 問1 あなたの性別を教えてください。

- ①. 男 2. 女

◎ あなた自身のことについて回答してください。

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢をご記入ください。(平成 25 年 4 月 1 日現在の年齢)

満 [] 歳

問3 あなたの身長と体重をご記入ください。

1. 身長 [.] cm 2. 体重 [.] kg

問4 現在、あなたは次のうちどれにあてはまりますか。

1. 常勤で会社等に勤務 2. パートタイム、アルバイト等 3. 自営業 4. 家事専従
5. 高校生 6. 大学生・専門学校生等 7. 無職 8. その他

問5 あなたの家族構成(世帯)は次のどれにあてはまりますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子ども、夫婦と親など、二世帯からなる家族
4. 親と子ども夫婦と孫の三世帯、あるいはそれ以上の家族 5. その他(1～4以外)

◎資料1を読んで、該当するものを1つ選んで○をつけてください。(問6～8)

資料1 「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミンしか摂らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問6 あなたは、普段朝食を食べますか。1つ選んで○をつけてください。

1. ほとんど毎日食べる 2. 週4～5日食べる 3. 週2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問7 朝食を家族の誰かと一緒に食べていますか。1つ選んで○をつけてください。

(家族と同居している方のみ回答してください。)

1. いつも一緒に食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問8 夕食を家族の誰かと一緒に食べていますか。1つ選んで○をつけてください。

(家族と同居している方のみ回答してください。)

1. いつも一緒に食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

◎資料2を読んで、該当するものを1つ選んで○をつけてください。(問9)

資料2 「主食」：ごはんやパン、めん類などの穀類で、糖質エネルギーの供給源となるもの
「主菜」：魚や肉、卵、大豆製品など、たんぱく質や脂質の供給源となる副食（おかず）
「副菜」：野菜や海藻を中心とした、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う副食（おかず）

問9 あなたは、主食・主菜・副菜を三つそろえて食べることが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。1つ選んで○をつけてください。

1. ほとんど毎日食べる 2. 週に4～5日食べる 3. 週に2～3日食べる
4. 週に1日程度食べる 5. ほとんど食べない

問10 あなたは、健康の維持増進やメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）等の予防や改善のために、(1)適切な食事、(2)定期的な運動、(3)週に複数回の体重計測のいずれかを実践していますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 実践して、半年以上継続している 2. 実践しているが、半年未満である
3. 時々気をつけているが、継続的ではない 4. 現在していないが、近いうちにしようと思っている
5. 現在していないし、しようとも思わない

問11 あなたは、噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか？

1つ選んで○をつけてください。

1. 関心がある 2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない 4. 関心がない 5. わからない

問12 あなたは、普段の食生活において、よく噛んで、味わって食べていますか？

1つ選んで○をつけてください。

1. 食べている 2. 食べていない 3. わからない

◎資料4を読んで、該当するものを1つ選んで○をつけてください。(問13)

資料4 「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身につけたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

問13 あなたは「食育」に関心がありますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 関心がある 2. どちらかといえば関心がある 3. どちらかといえば関心がない
4. 関心がない 5. 分からない

◎資料5を読んで、該当するものを3つまで選んで○をつけてください。(問14)

資料5

「食事バランスガイド」：「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの

「食生活指針」：望ましい食生活を実践するための指針

「日本人の食事摂取基準」：1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの

「6つの基礎食品」：栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの

「3色分類」：食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの（赤・黄・緑）

問 14 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。

3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------|-----------------|
| 1. 食事バランスガイド | 2. 「食生活指針」 | 3. 「日本人の食事摂取基準」 |
| 4. 「6つの基礎食品」 | 5. 「3色分類」 | 6. その他の指針 |
| 7. 特に参考にしていない | 8. わからない | |

問 15 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方がよいかや、どのような調理が必要かについての知識がありますか。 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 十分にあると思う | 2. ある程度あると思う |
| 3. あまりないと思う | 4. 全くないと思う 5. 分からない |

問 16 あなたは、食物アレルギーについて、言葉や意味を知っていますか。

1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 十分にあると思う | 2. ある程度あると思う |
| 3. あまりないと思う | 4. 全くないと思う 5. 分からない |

問 17 あなたは、普段食品を選択する際に栄養成分表示（カロリーや脂肪の量等の表示）を参考にしますか。 1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 参考にしている | 2. どちらかといえば参考にしている |
| 3. どちらかといえば参考にしていない | 4. 参考にしていない |

問 18 あなたは、自分で料理をすることが、週に1回以上ありますか。

1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問 19 あなたは、伝統食や行事食及び食事のマナーなどを含め、食文化を大切にしていますか？

1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 大切にしている | 2. どちらかといえば、大切にしている |
| 3. どちらかといえば、大切にしていない | 4. 大切にしていない |

問 20 あなたは次の食育に関する取り組みで、日々の生活に取り入れたいと思うもの（現在取り入れているものも含めて）がありますか？あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|---------------------------------|--------------------|
| 1. 朝食を食べる | 2. 三食食べる | 3. 栄養バランスを考えた食事をする |
| 4. 家族や友人と一緒に食事をする | 5. 食事のあいさつを大切にする | |
| 6. 農業・酪業・漁業などの体験や交流 | 7. 食の安全に関する知識をもつ | |
| 8. 環境に配慮した調理（生ゴミを減らす・油の処理など） | | |
| 9. 「伝統食」「行事食」などの食文化を学ぶ | 10. 食育の推進に関わる活動をする | |
| 11. 食べ物に感謝する気持ち | 12. その他（ ） | |

問21 あなたは、日頃の食生活の中で悩みや不安はありますか。

悩みや不安を感じていれば、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 自分の健康について | 2. 家族の健康について |
| 3. 家計や食費について | 4. 将来の食糧供給について |
| 5. 食文化の継承について | 6. 食べ残しや廃棄など環境への影響について |
| 7. 食品の安全性について | |
| 7-① 農薬 7-② 食品添加物 7-③ BSE | |
| 7-④ 食中毒 7-⑤ 放射性物質 7-⑥ その他（ ） | |
| 8. 悩みや不安は感じていない | |
| 9. その他（ ） | |

問22 あなたは、次のような農林漁業体験に参加したことがありますか？あてはまるもの全てに○をつけてください。（※農林漁業体験とは、農林漁業者、市、地域、学校等による農林漁業体験や民間のツアーによる体験のこと。）

- | |
|--|
| 1. 農業体験（田植え、野菜づくり、農作物の収穫など） |
| 2. 酪業の体験（牛などの乳しぼり、牛や豚などの世話など） |
| 3. 漁業の体験（地引網体験、漁船乗船や海産物の収穫体験） |
| 4. その他の収穫体験（果物狩り、潮干狩り、つりなど） |
| 5. 食品工場や農作物加工工場の見学や体験学習 |
| 6. その他（ ） 7. 参加したことがない |

問23 いわき市では、原発事故に伴い、食の安全・安心を確保するため、水道水・井戸水を始めとした一般家庭の食事、学校給食（食材及び食事）、保育所給食（食材及び食事）、加工食品等について放射性物質の検査を実施しております。これまでの結果としては、食品安全基準値を超える事例は発生しておりません。今後も、これらの検査を継続して実施して参りますが、これらの取組みについてご意見等があればお寄せください。

問24 いわき市の食育の推進に関しまして、ご意見等があればお寄せください。

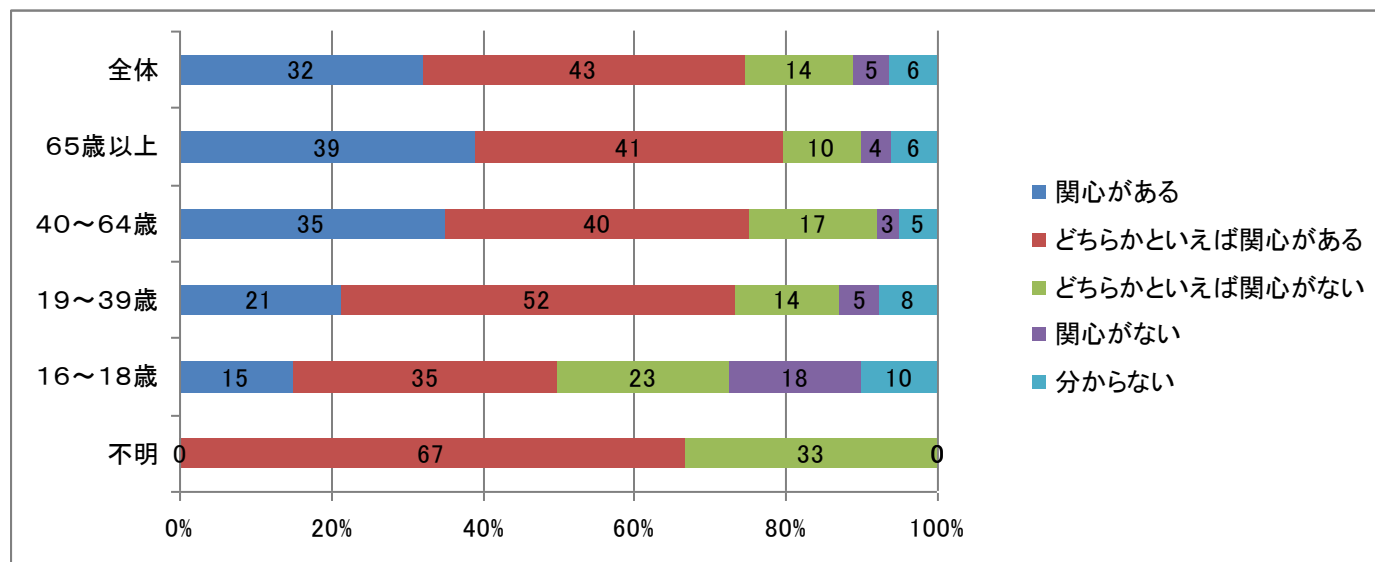
以上でアンケートはおわりです。同封の返信用封筒に入れて返送してください。
ご協力ありがとうございました。

平成25年度食育に関するアンケート調査結果について

1 食育に関心を持っている市民の割合

「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答している市民の割合については、全体では 75%であり、「いわき市食育推進計画」に設定されている目標値 90%以上を下回った。

特に若い世代(思春期)の関心が低い。今後は、若い世代の関心度を高めることが必要と思われる。



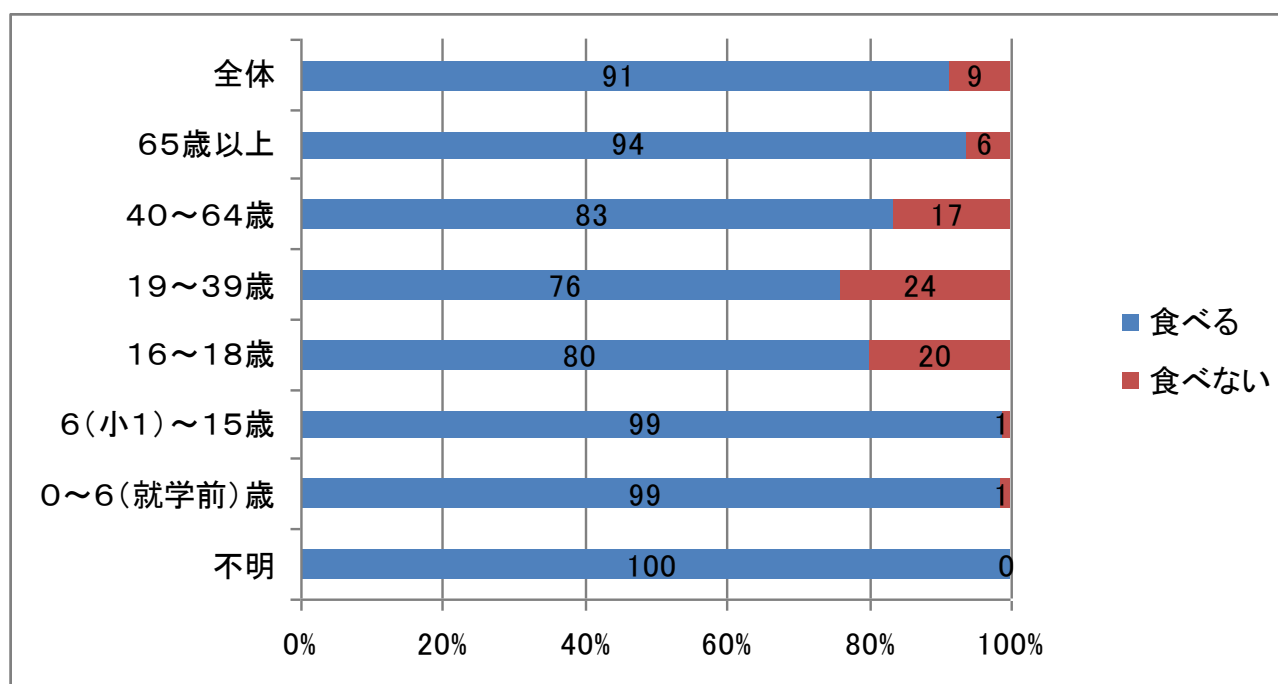
(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)

「食育に関心を持っている市民の割合」 90%以上

2 朝食または夕食を週4日以上家族と一緒に食べる人の割合

朝食または夕食を週4日以上家族と一緒に食べる人の割合は、91%となっている。乳幼児まで含めると、週4回以上家族と一緒に食事を食べる人の割合は高めとなる。

国の第2次計画では、「朝食と夕食を合わせて週に 10 回以上家族と食事を摂る人が 70%以上」という数値目標が掲げられている。

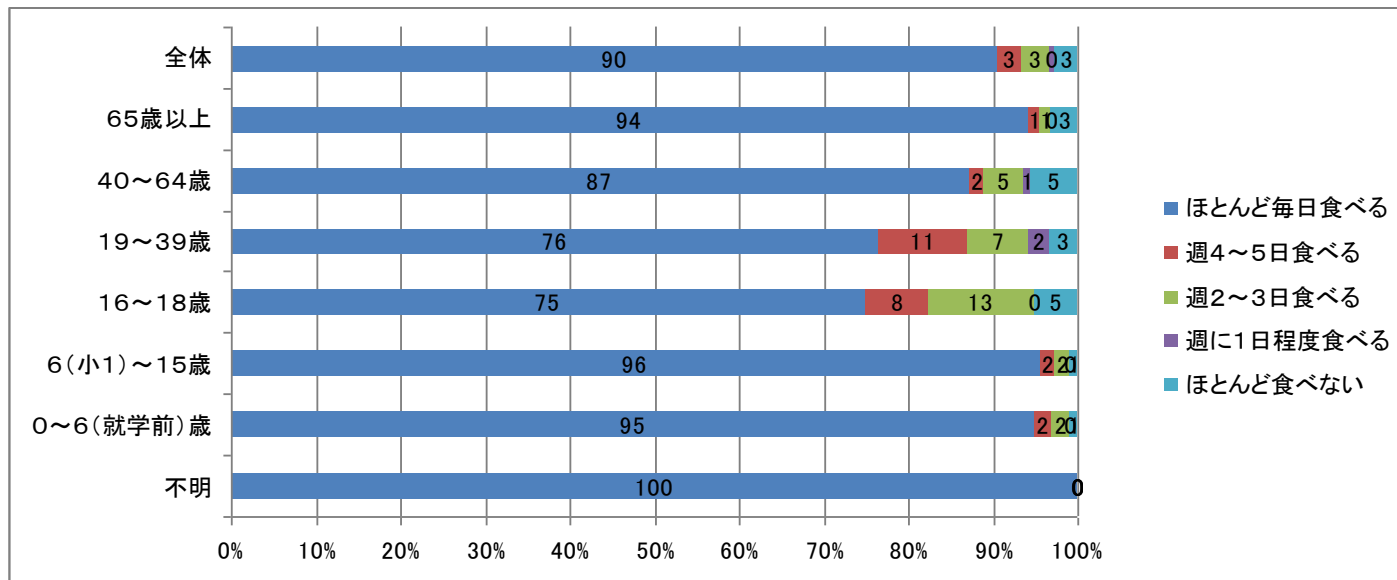


※追加目標

3 朝食を食べる市民の割合

朝食を毎日とっている人は、全体では90%であるが、16～39歳の世代に朝食をとらない人が多い。仕事や単身生活、夜更かしなどで生活習慣が乱れやすくなるからであるのか、この世代及びその前の世代に重点的に働きかけをしていく必要がある。

目標値については、学童期及び青年期Ⅰ（19～29歳）は、「朝食を欠食する市民の割合」を0%、青年期Ⅱ（30～39歳）が5%以下となっていることから、朝食の必要性等について引き続き働きかけていく。



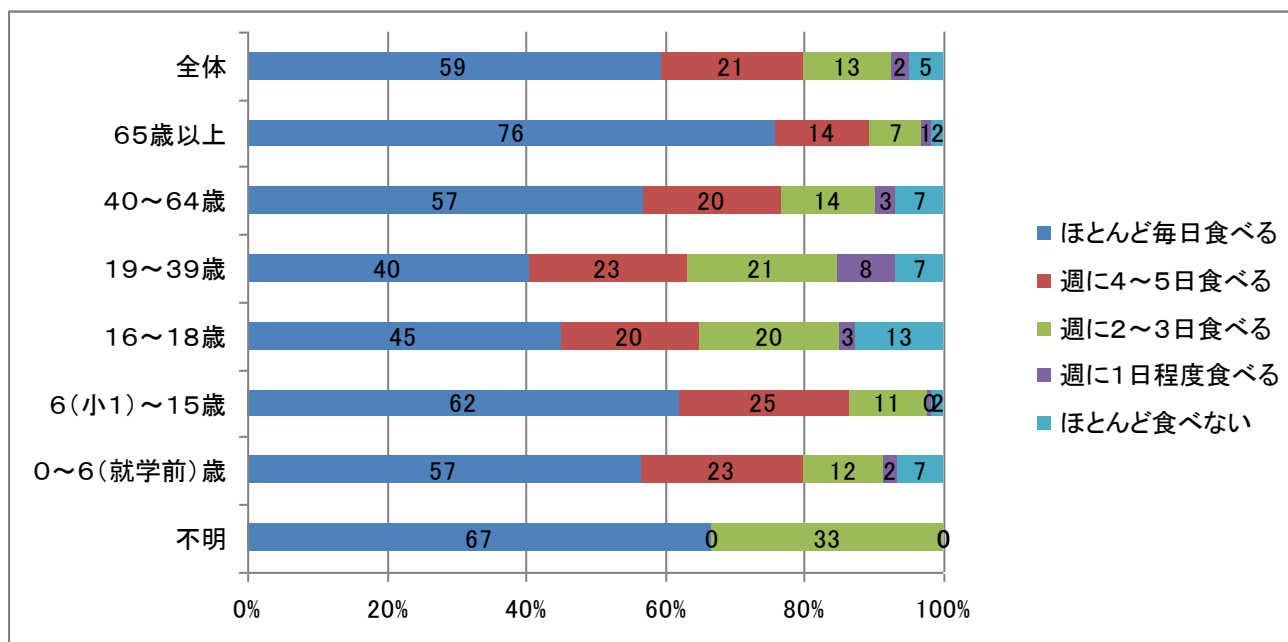
(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)「朝食を欠食する市民の割合」

学童・思春期(小学校入学～18歳) 0% 青年期Ⅰ(19歳～29歳) 0% 青年期Ⅱ(30歳～39歳) 5%以下

4 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合

1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べることがほとんど毎日である人は、59%となっている。

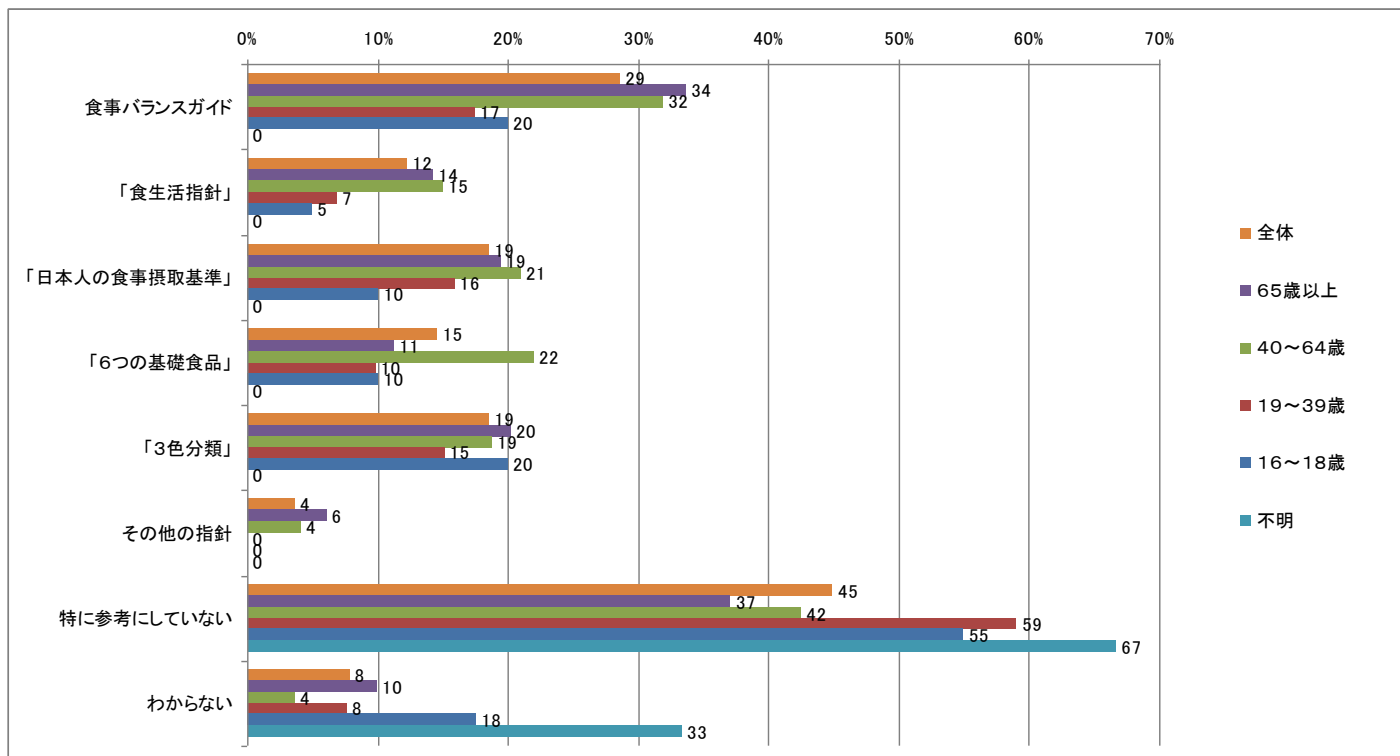
思春期・青年期において、バランスの良い食事の摂取頻度が少ない傾向にあり、栄養のバランスのよい食事についての情報や実践する方法について啓発していく必要がある。



※追加目標

4 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合（16歳以上）

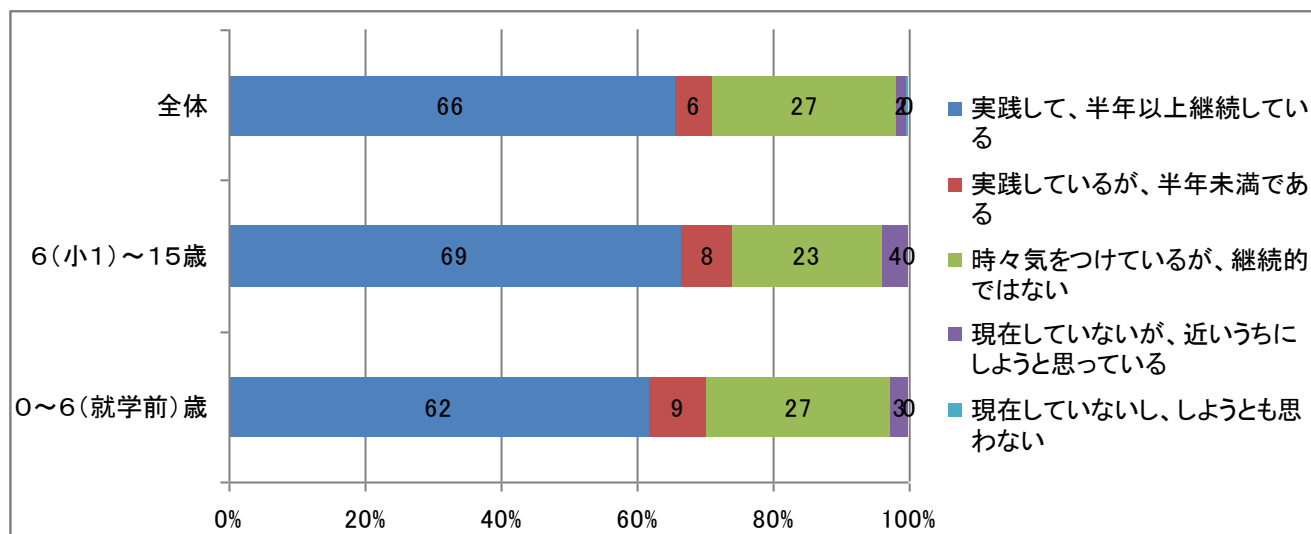
何らかの指針を参考にしている人のうち、「食事バランスガイド」を参考にしている人は29%、「日本人の食事摂取基準」を参考にしている人が19%、「3色分類」を参考にしている人が19%、「6つの基礎食品」が15%、「食生活指針」が12%であった。「特に参考にしていない」という人は、全体の45%であった。



5 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合（15歳以下） ※16歳以上の市民の目標の参考値とする。

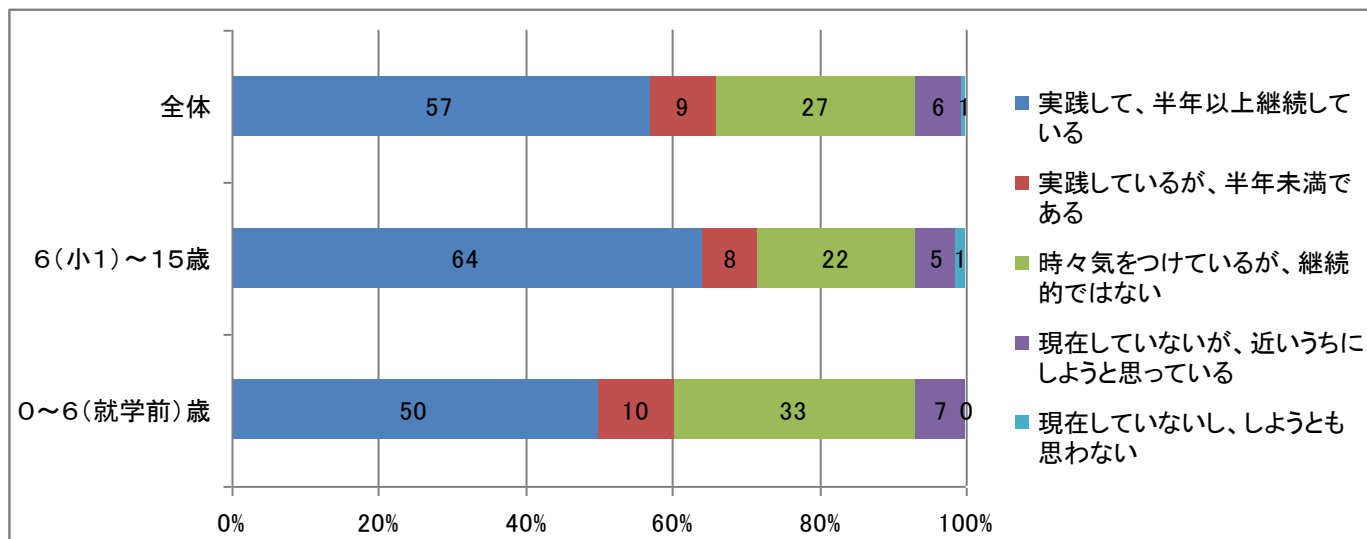
1) 適切な食事

保護者の66%が、子どもに適切な食事をさせていると回答している。



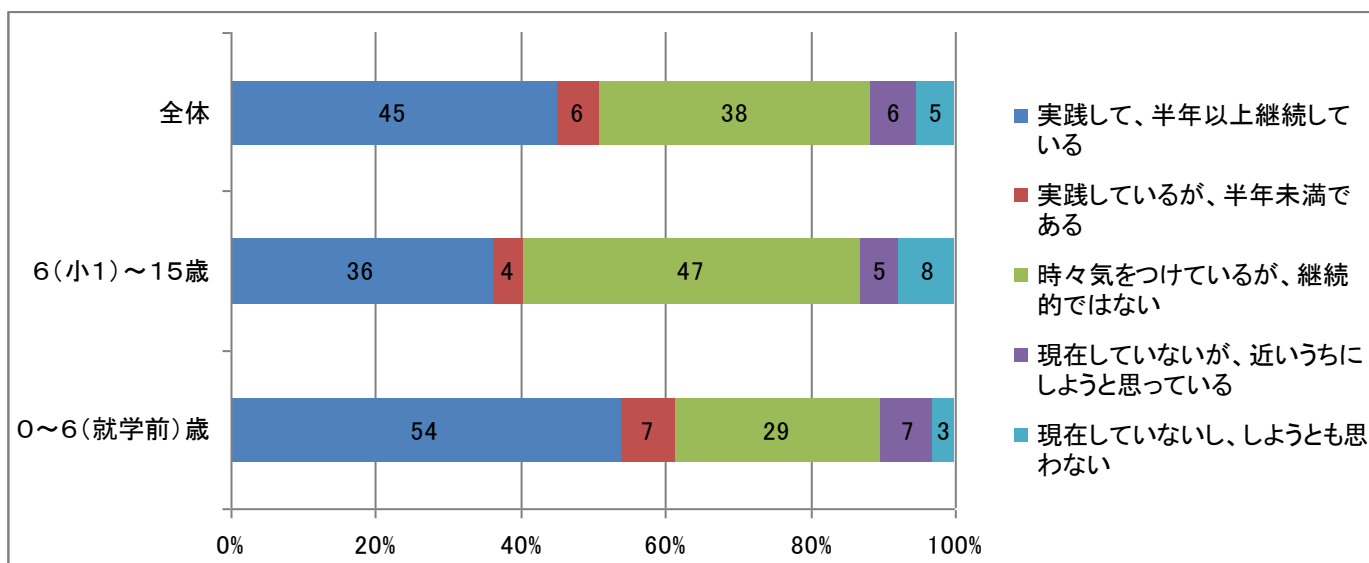
2) 定期的な運動

保護者の57%が、子どもに定期的な運動をさせていると回答している。



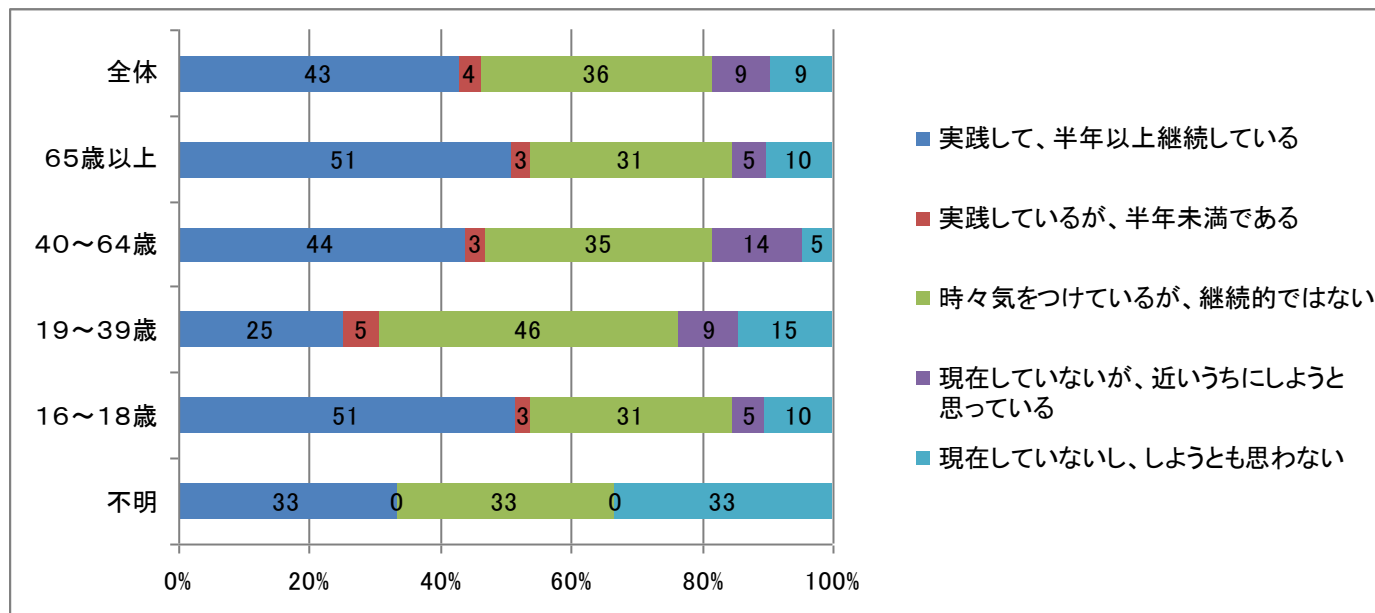
3) 定期的な体重計測

保護者の45%が、子どもに定期的な体重計測をさせていると回答している。



6 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合(16歳以上)

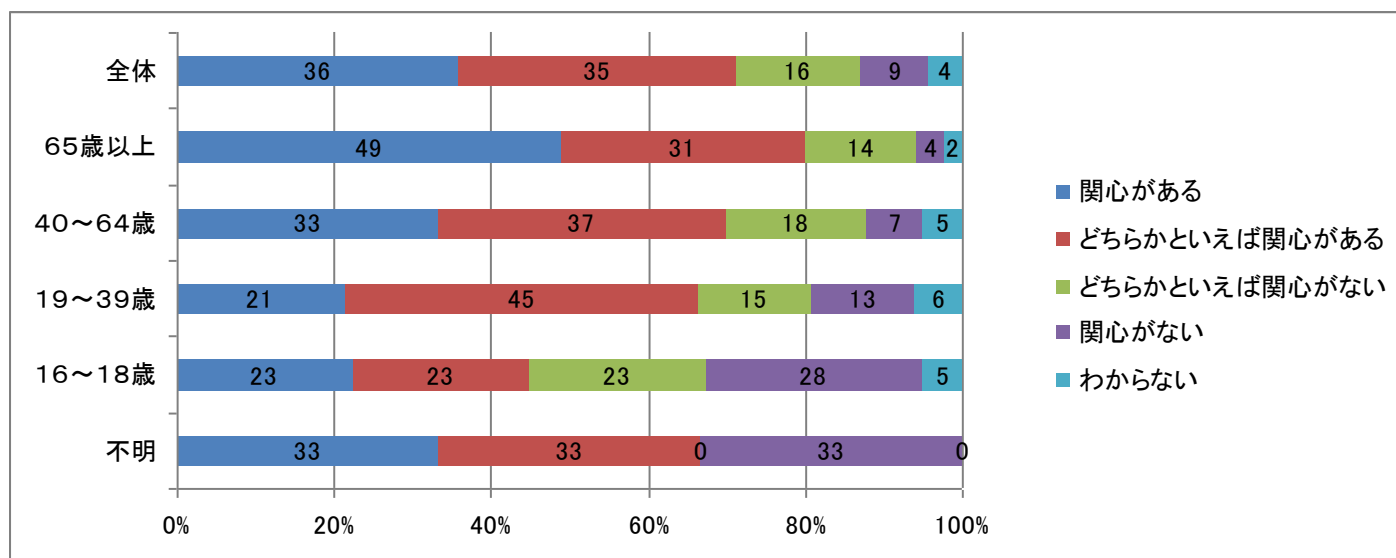
健康の維持増進やメタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等のいずれかを継続的に実践している市民の割合は43%である。特に青年期において、継続的に実践している方の割合が低めとなっている。この割合を増やしていく必要がある。また、「時々気をつけているが、継続的でない」方、「現在していないが、近いうちにしようと思っている」方、「現在していないし、しようとも思わない方」へのアプローチが必要と思われる。



※追加目標

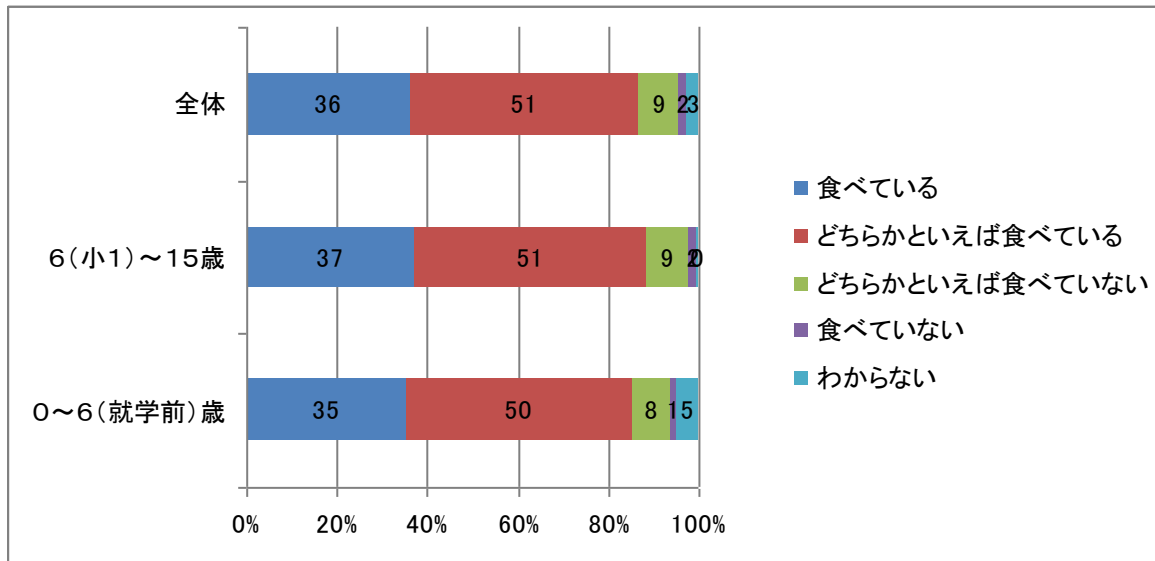
7 よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心がある市民の割合

よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心がある人は、71%となっている。この割合を増やしていく必要がある。

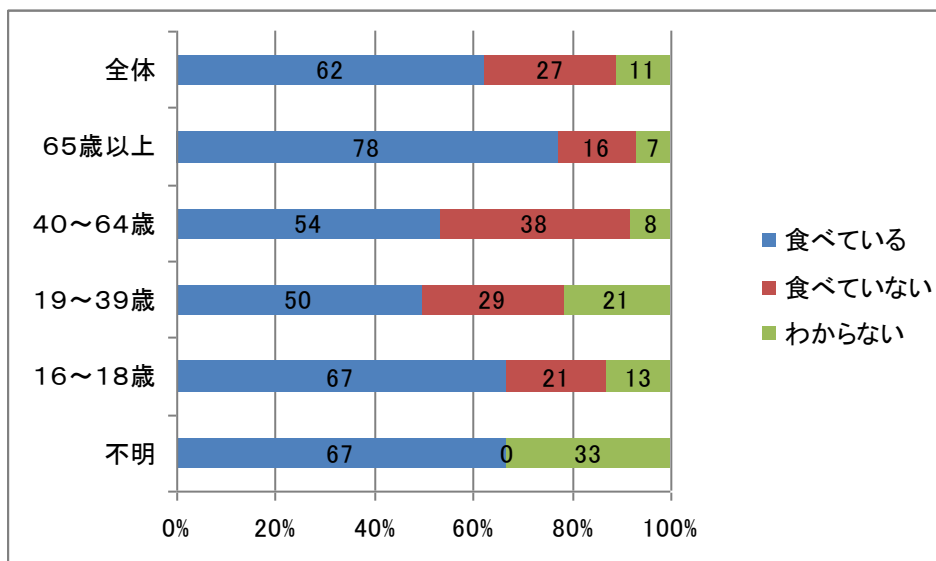


※追加目標

8 よく噛んで味わって食べる市民の割合(15歳以下) ※よく噛んで食べるなどの食べ方に関心がある人の割合の参考値
15歳以下の方については、よく噛んで味わって食べる人の割合は87%である。

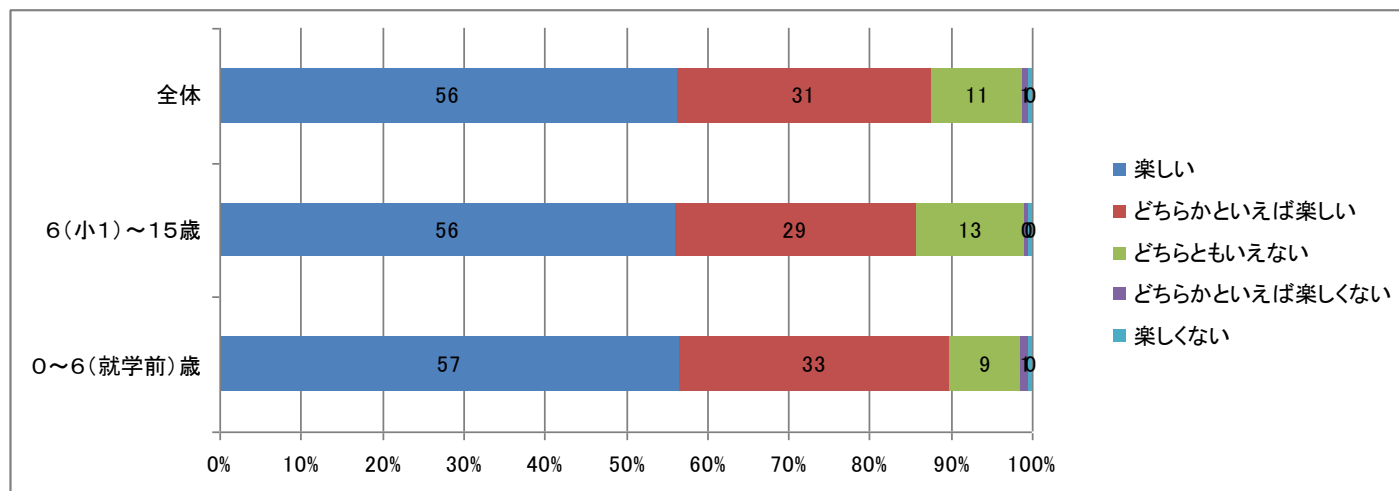


9 よく噛んで味わって食べる市民の割合(16歳以上) ※よく噛んで食べるなどの食べ方に関心がある人の割合の参考値
16歳以上の方については、よく噛んで味わって食べる人の割合は89%である。



10 食事の時間が楽しいと感じている市民の割合(15歳以下)

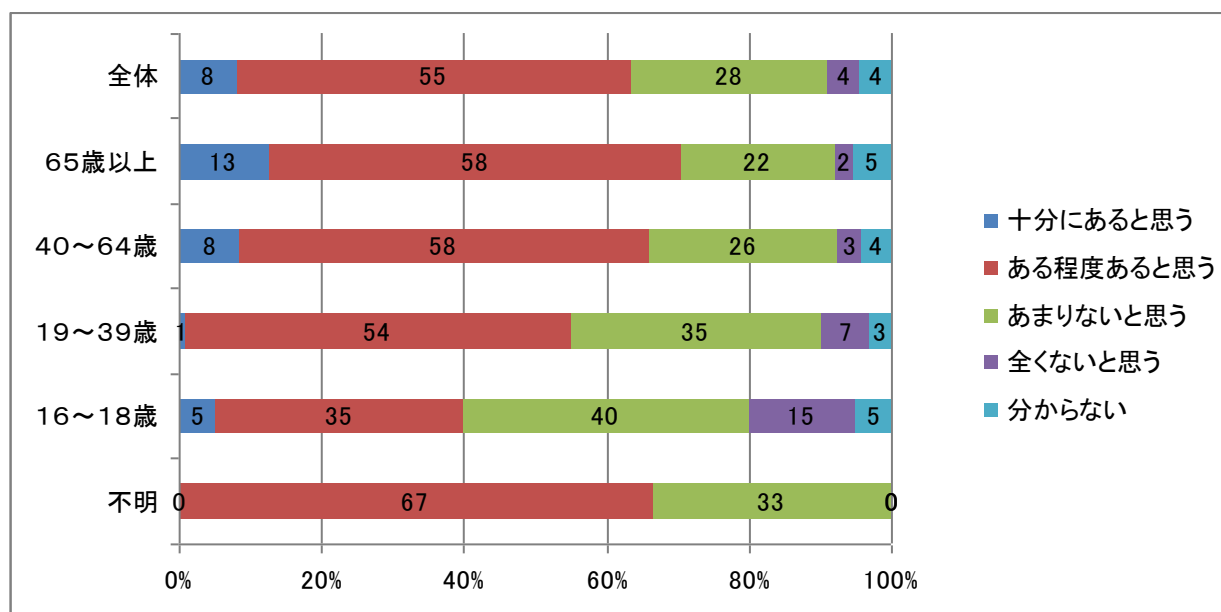
食事の時間が楽しいと感じている15歳以下の子どもは、87%である。学童期までの食体験から、食行動が継続されることが多いため、楽しい食体験とともに、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけることが大切である。そのため、食事の時間が楽しいと感じている15歳以下の市民の割合の増加を目標とする。



※追加項目

11 食品の安全性に関する基礎知識を持っている市民の割合

「健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識があるか」については、「ある」と答えた人全体で63%となっている。「食品の安全性に関する基礎知識を持っている市民の割合」は、目標値60%を超えている。しかし、思春期や青年期において、食品の安全性に関する基礎知識を持っていない人の割合が高めであり、若い世代への啓発が必要と思われる。

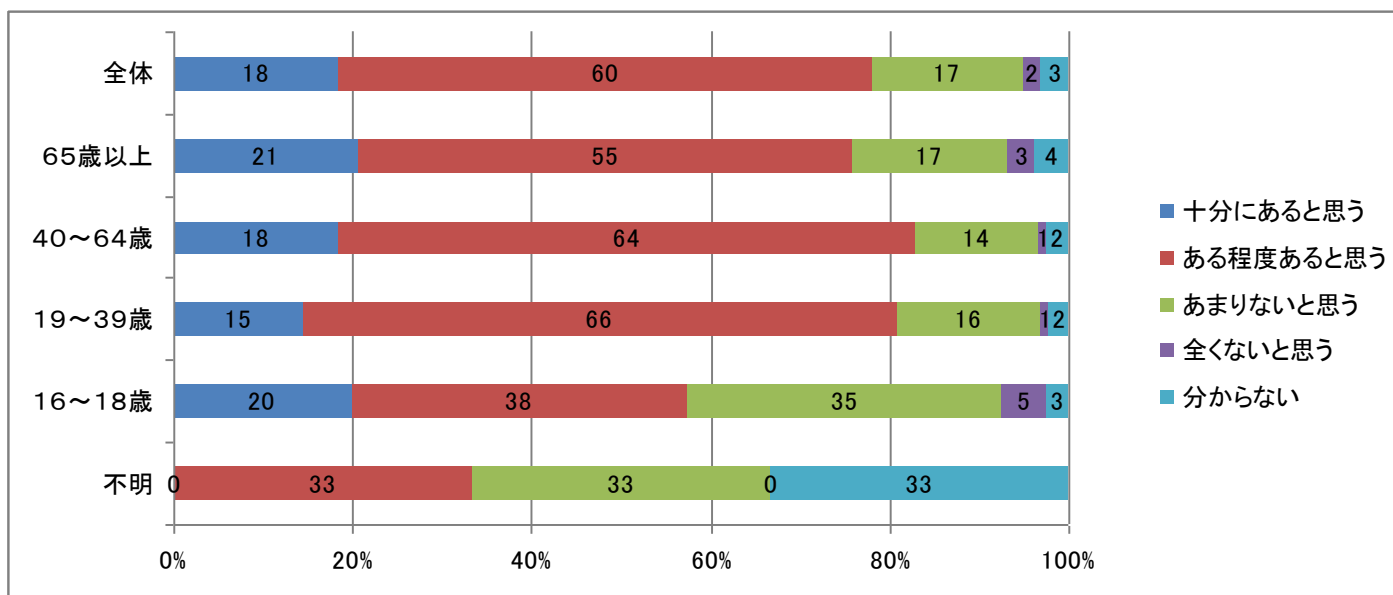


参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)

「食品の安全性に関する基礎知識を持っている市民の割合」 60%以上

12 食物アレルギーに関する知識を持っている市民の割合

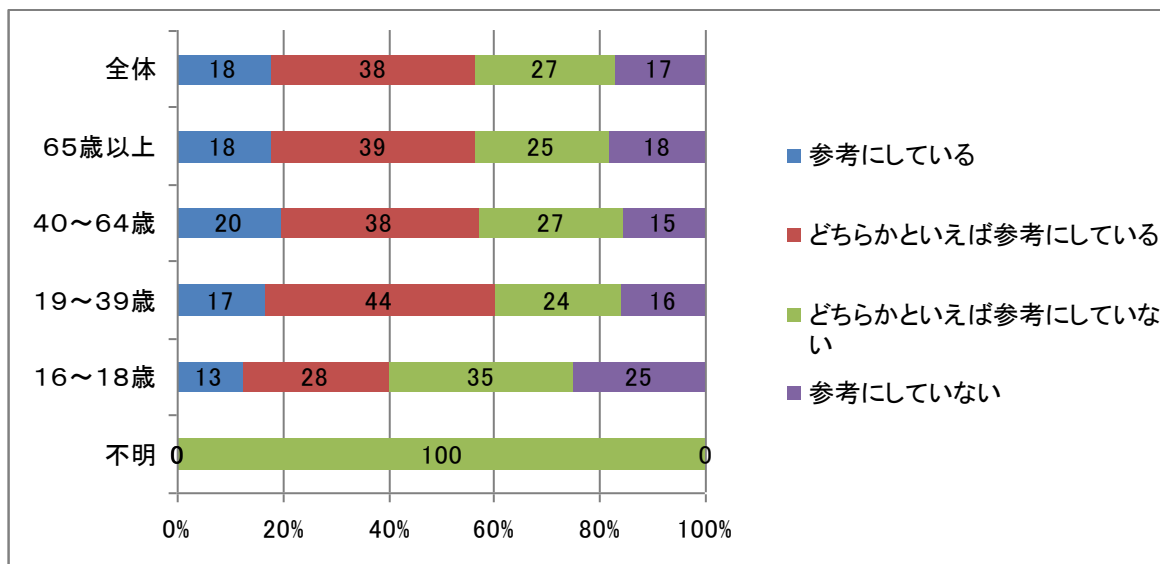
食物アレルギーに関する十分な知識を持っている市民の割合は、18%となっている。十分な知識を持っている市民の割合を増やし、食物アレルギーを持つ方が安全・安心な食生活を送れるように支援する必要がある。



※ 追加項目

13 外食や食品を購入する際に、栄養成分表示を参考にする市民の割合

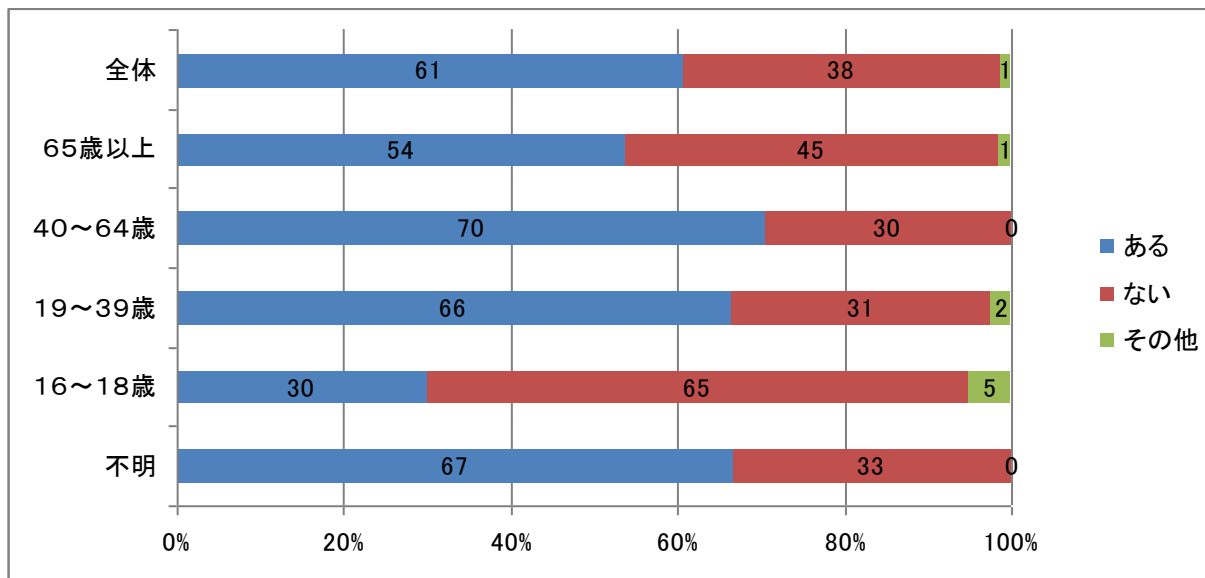
外食や食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にする市民の割合は、56%となっている。ライフスタイルの多様化に伴い、外食や中食、ファーストフードの利用が増えていることから、生活習慣病の予防や健康の維持増進のため、栄養成分表示を参考にする市民の割合を増やしていく必要がある。



※追加項目

14 自分で料理する機会が週に1回以上ある市民の割合

自分で料理する機会が週に1回以上ある市民の割合は 61%であり、ほとんど料理する機会がないと回答した人は 38%である。食材や料理することに興味を持ち、自分で料理する人を増やしていくことも生活習慣病の予防や健康の維持増進につながるとされるため、この割合を増やしていく必要がある。

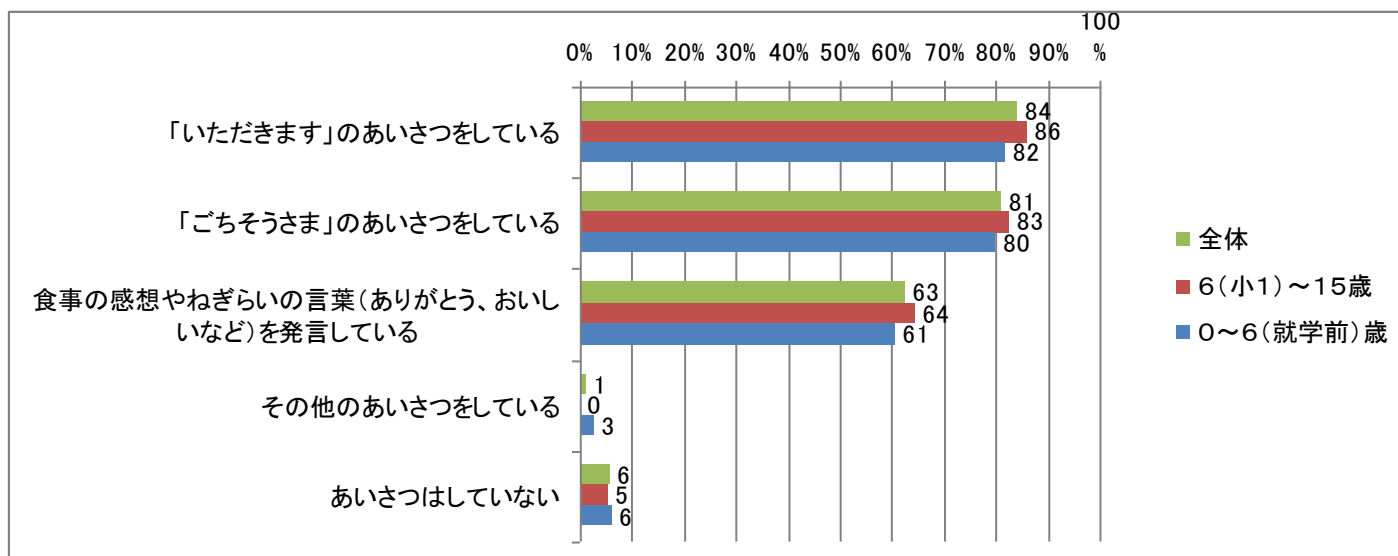


※追加項目

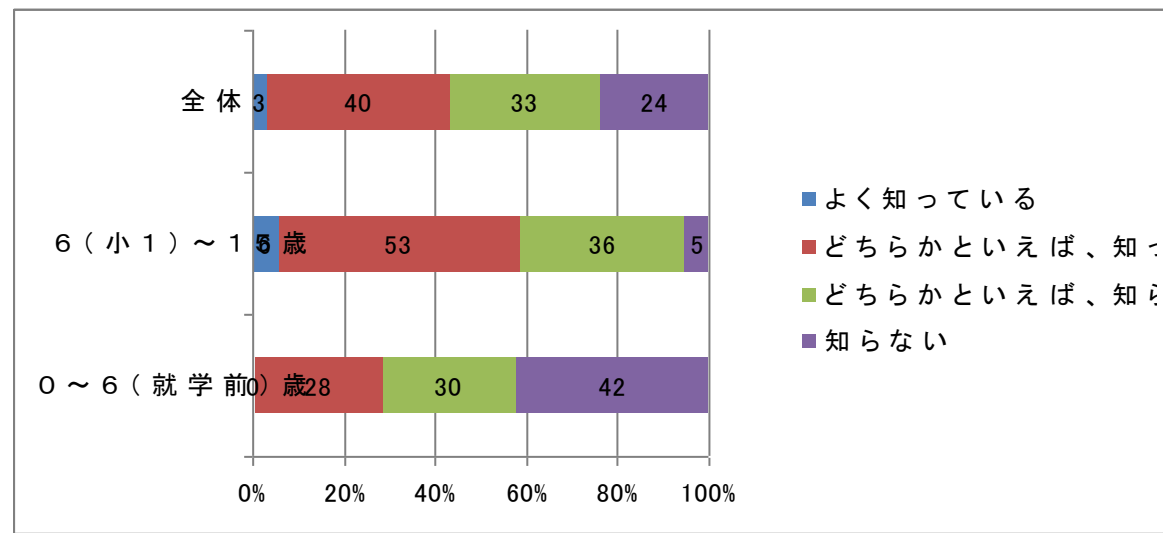
15 食文化(伝統食や食事のマナーなど)を大切にしている市民の割合

1) 食事の際にあいさつする子ども ※食文化を大切にしている 16 歳以上の市民の割合の参考値

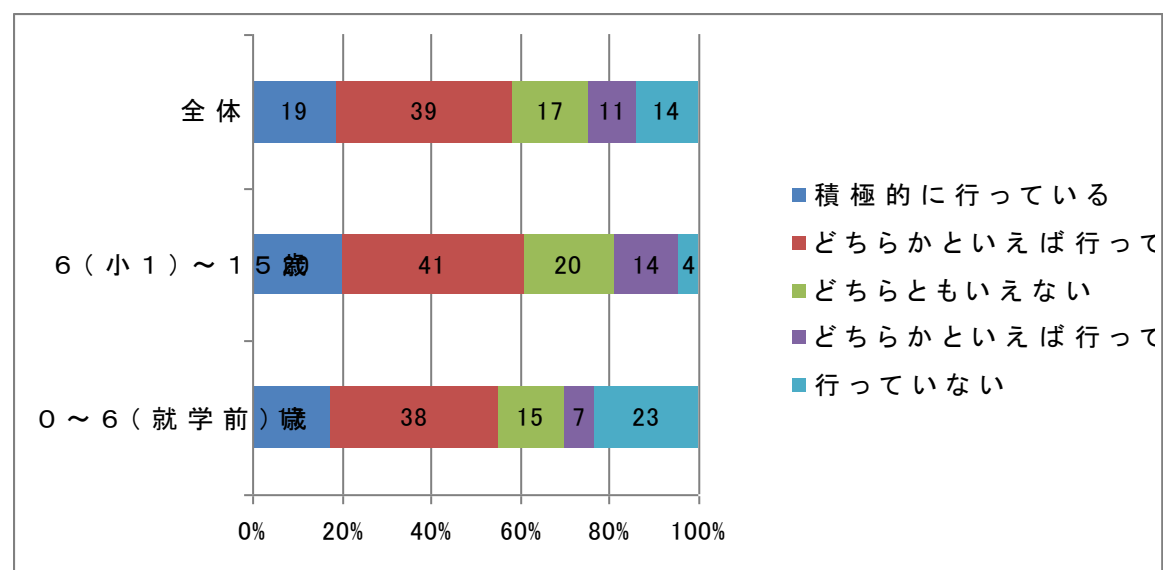
「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつをしている子どもは、80%を超えている。



2) 食文化を知っている子どもの割合 ※食文化を大切にしている16歳以上の市民の割合の参考値
 食文化を知っている子どもの割合は、全体の43%となっている。

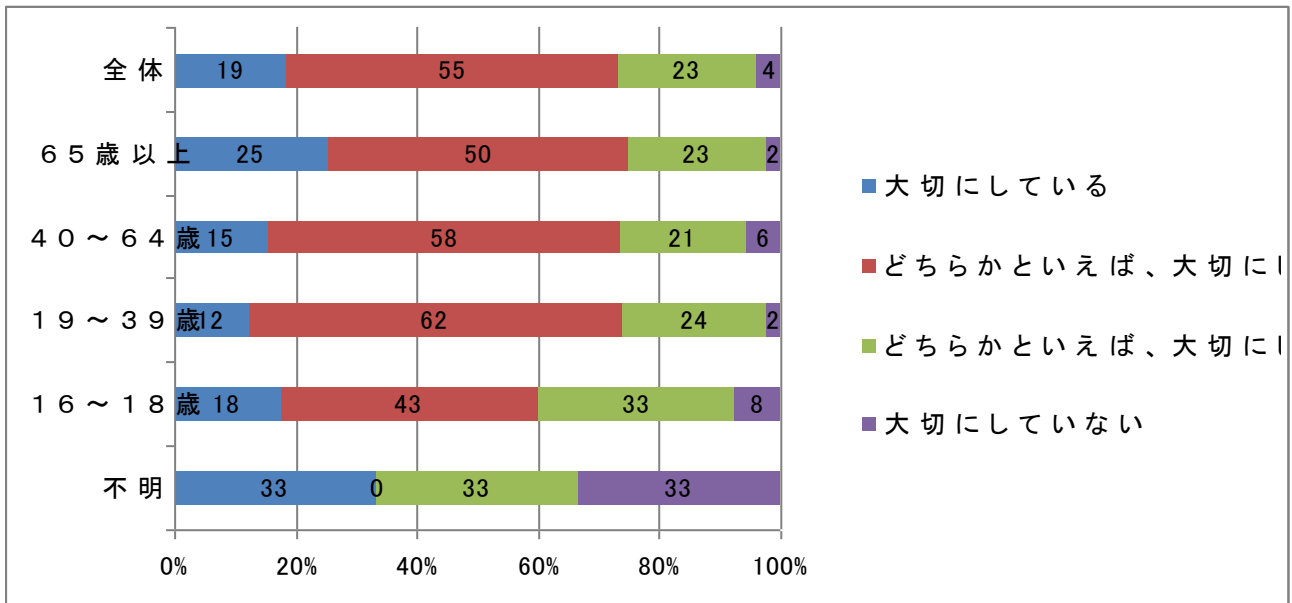


3) 食事の準備や後片付けを手伝っている子どもの割合 ※食文化を大切にしている16歳以上の市民の割合の参考値
 食事の準備や後片付けを手伝っている子どもの割合は、全体の58%となっている。



16 食文化を大切にしている市民の割合(16歳以上)

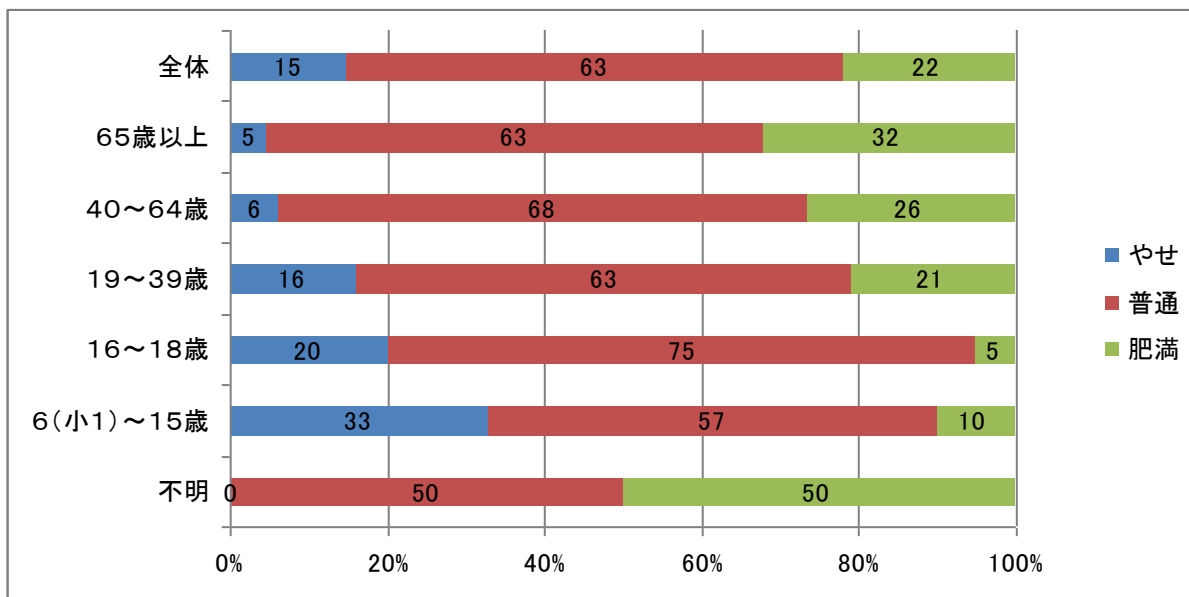
食文化を大切にしている市民の割合は、全体の 74%となっている。食事のマナーを大切にすることで精神的な豊かさを育み、郷土料理や地域の食に関する行事を大切にするにより、地域への愛着が沸くと思われることから、食文化を大切にする市民の割合を増やしていく必要がある。



※追加目標

17 肥満傾向と判断される市民の割合

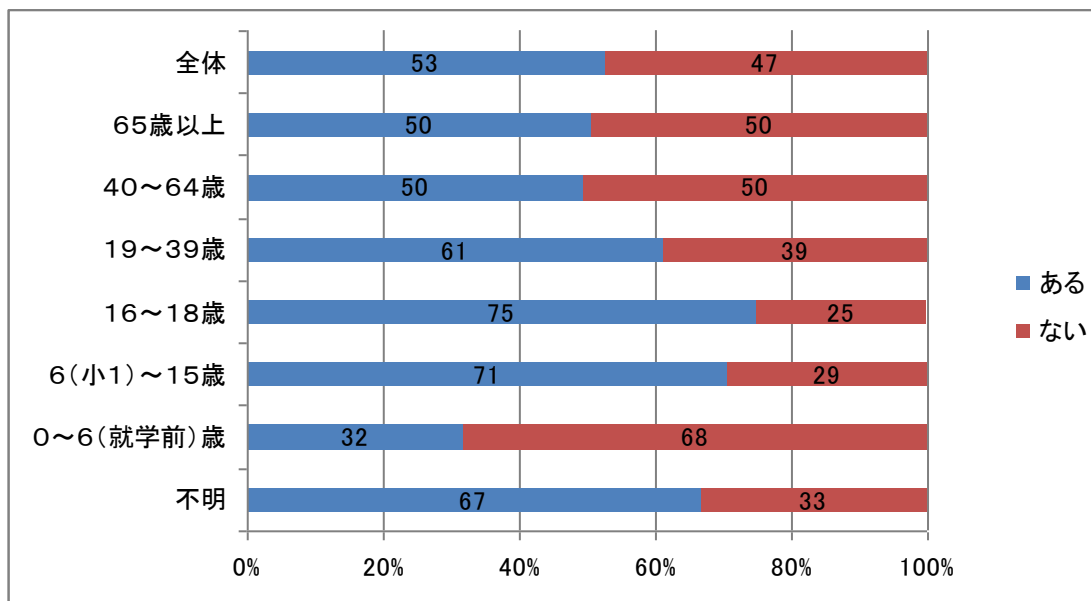
ライフステージ別に、5～32%の方が肥満傾向と判断される。肥満は、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)や生活習慣病のリスクにつながるため、肥満傾向と判断される市民の割合を減らすための取組みが求められる。



※追加項目

18 農林漁業体験を経験した市民の割合

農林漁業体験を経験した市民の割合は、全体の 53%となっている。農林水産業の体験活動は、食への関心や理解の増進を図るために有効であると思われることから、農林漁業体験を経験した市民の割合を増やしていく必要がある。

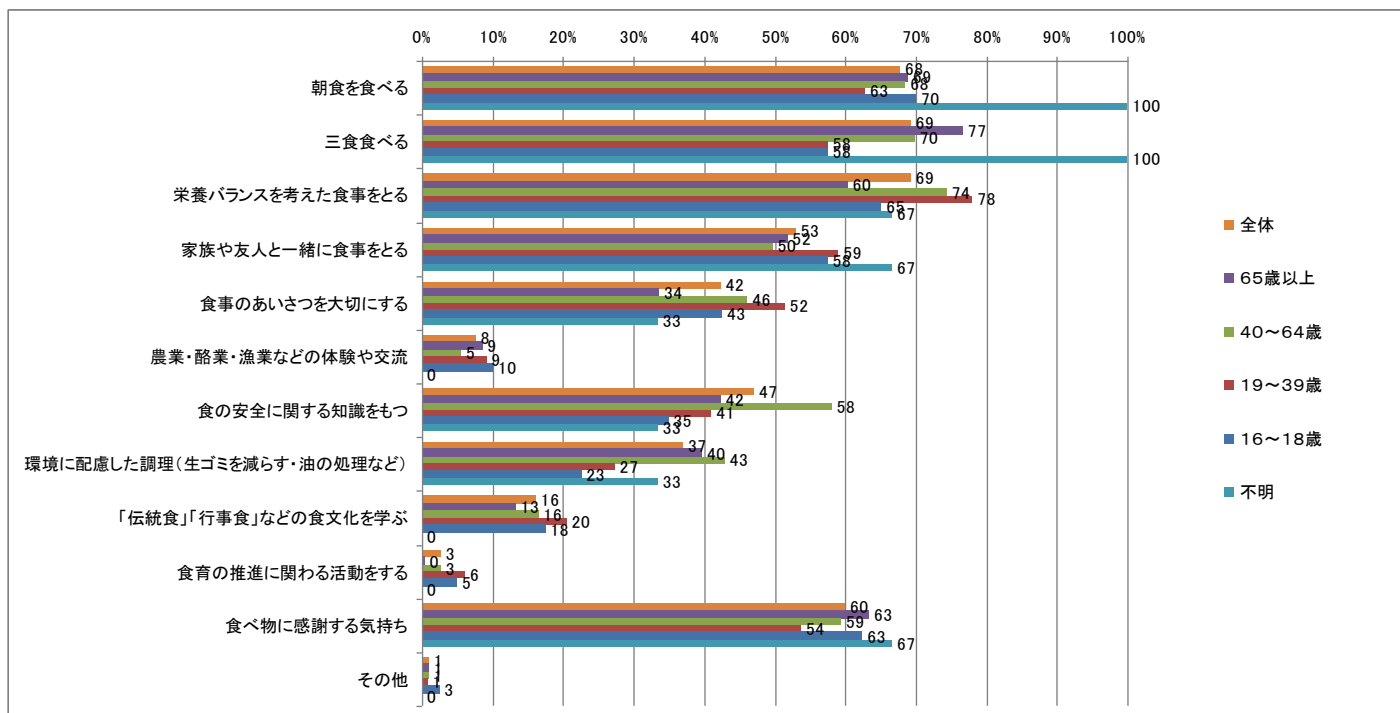


※追加項目

19 食育に関する取組みで、日々の生活に取り入れたいと思うもの(現在取り入れているものも含めて)

(16歳以上、複数回答で回答数を表示)

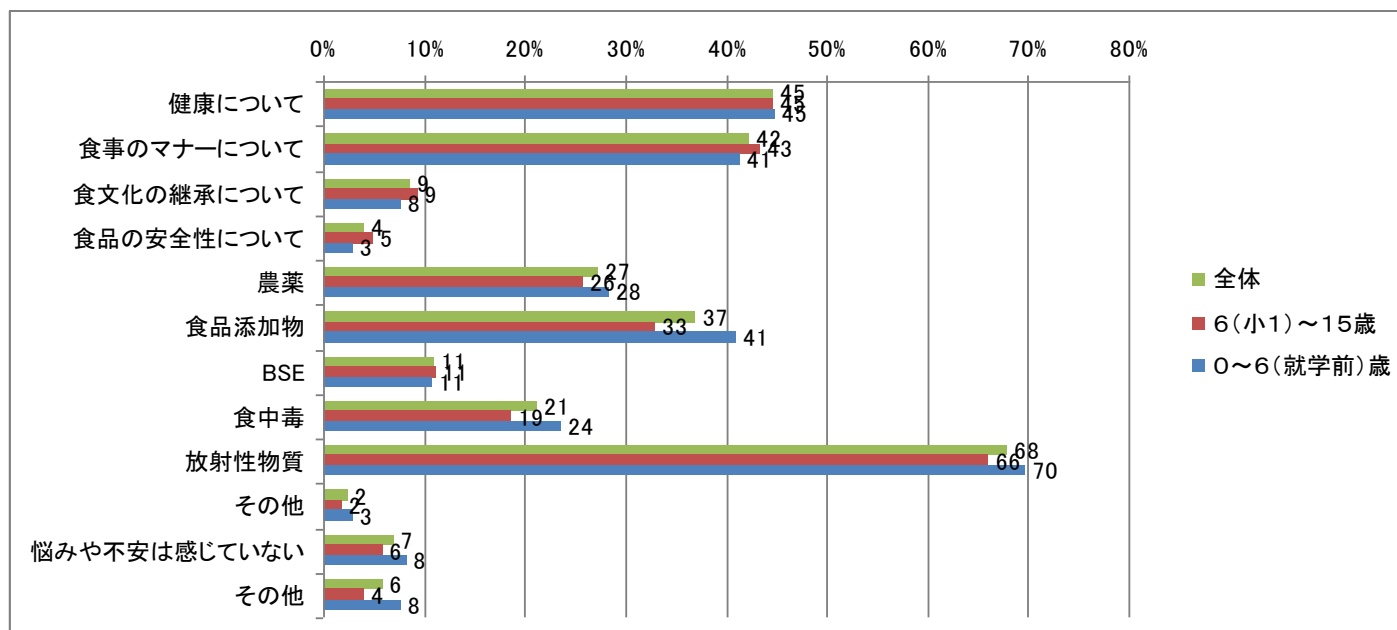
「朝食を食べる」、「三食食べる」、「栄養のバランスを考えた食事をとる」ことについては、回答者の7割近くの方が取り入れたいと回答している。



20 子どもの食生活についての悩みや不安

(15歳以下の子どもの保護者、複数回答で回答数を表示)

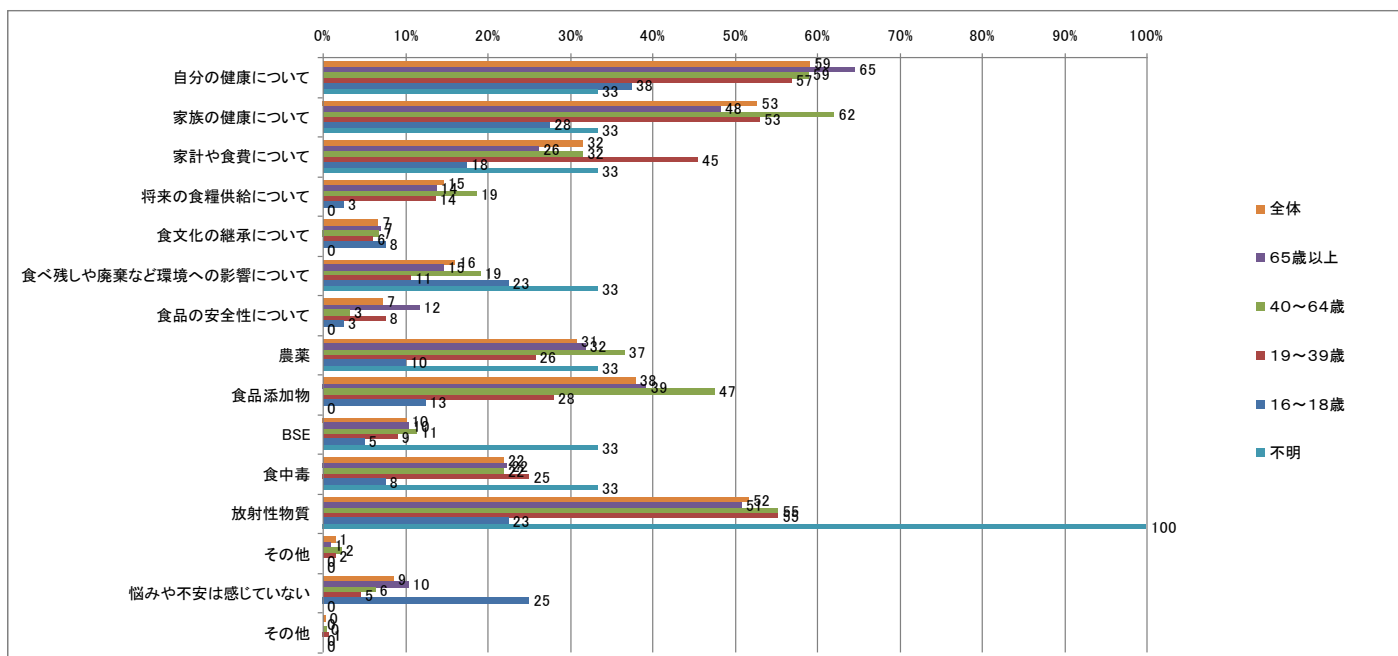
悩みやや不安があると回答した方の約7割が、「放射性物質」を挙げている。また、「子どもの健康」、「食事のマナー」、「食品添加物」を挙げた方がそれぞれ約4割いた。



21 自分の食生活についての悩みや不安

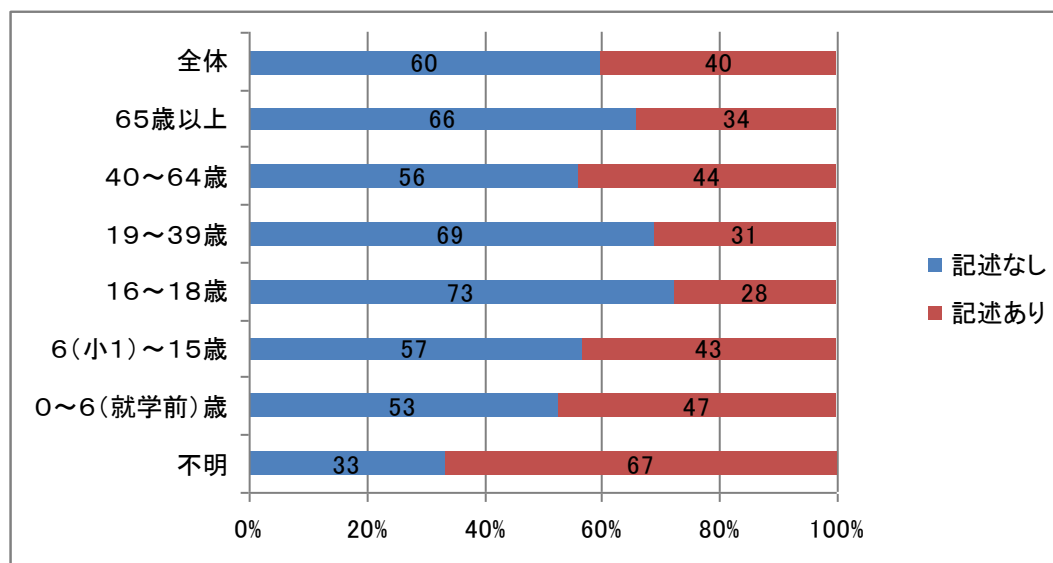
(16歳以上、複数回答で回答数を表示)

悩みやや不安があると回答した方の約6割が、「自分の健康」を挙げている。「家族の健康」、「放射性物質」を挙げた方がそれぞれ約5割いた。「食品添加物」を挙げた方は、約4割いた。

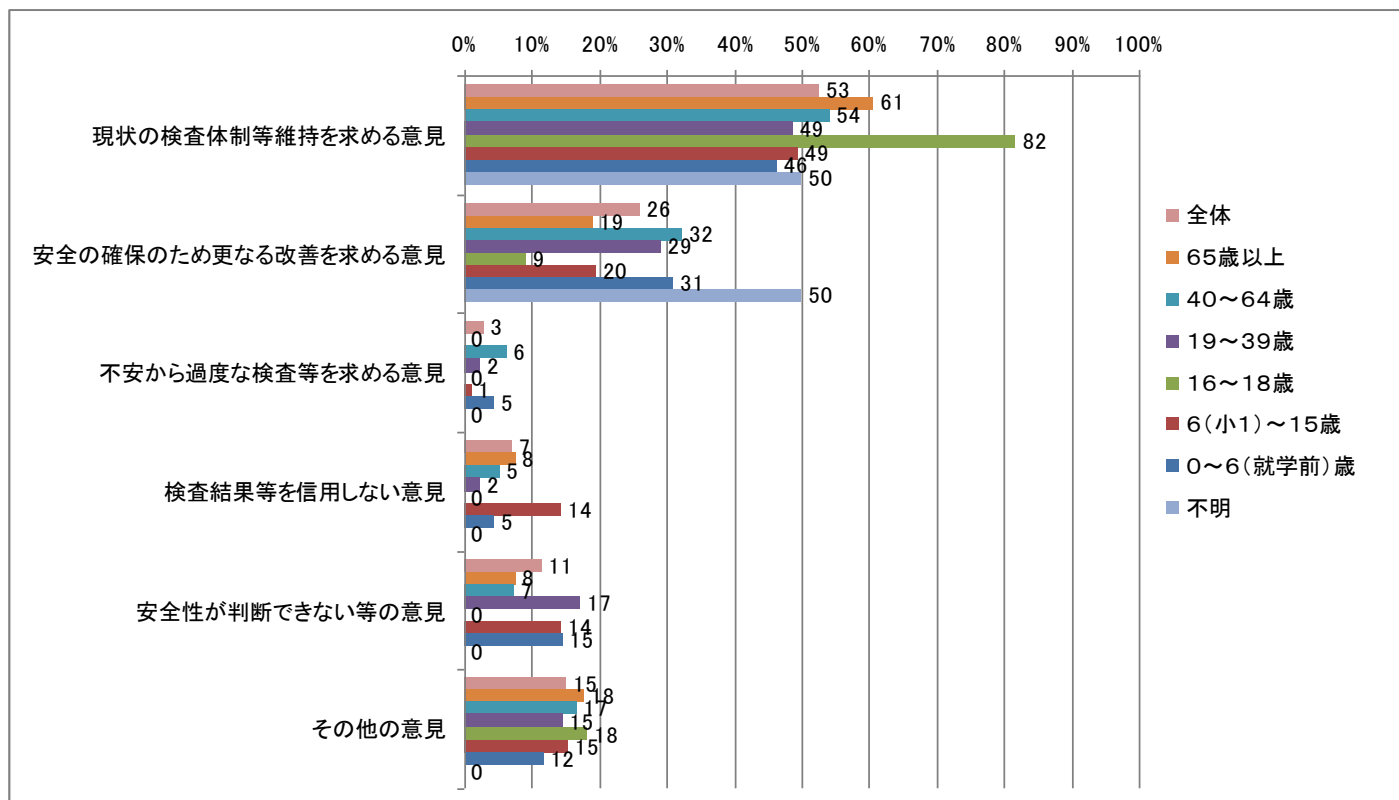


22 食についての放射性物質対策についての意見(自由記述、複数回答)

意見を寄せてくれた方は全体の4割(436人)であり、残りの6割の方は特に意見はなかった。

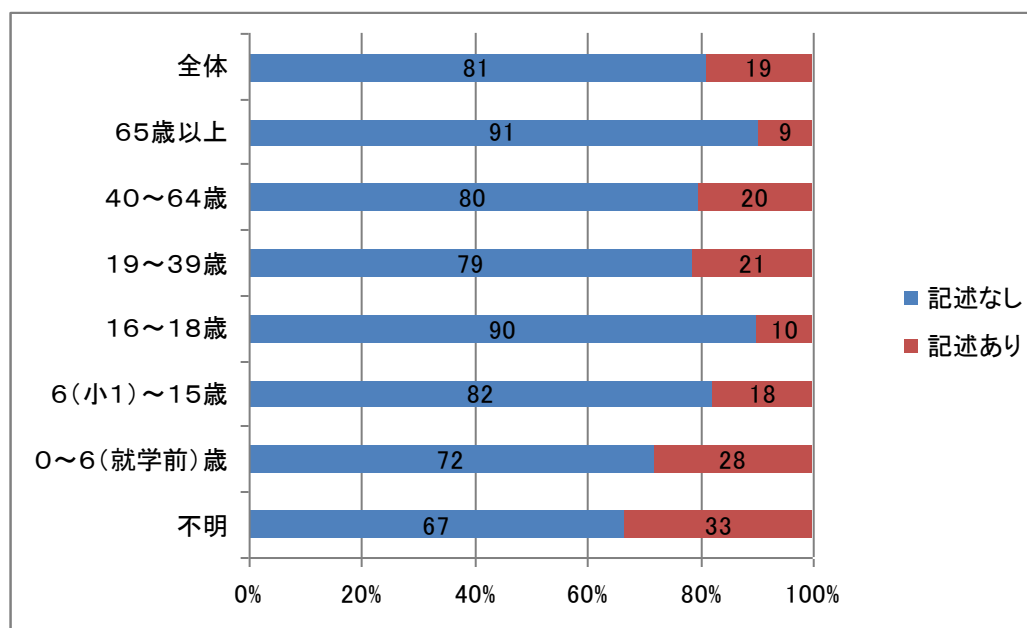


記述のあった意見をカテゴリ別に分類した結果、「現状の検査体制維持を求める意見」が53%、「安全の確保のため更なる改善を求める意見」が26%、「不安から過度な検査等を求める意見」が3%、「検査結果等を信用しない意見」が7%、「安全性が判断できない等の意見」が11%、「その他の意見」が15%であった。(意見を寄せてくれた人数に占める割合)

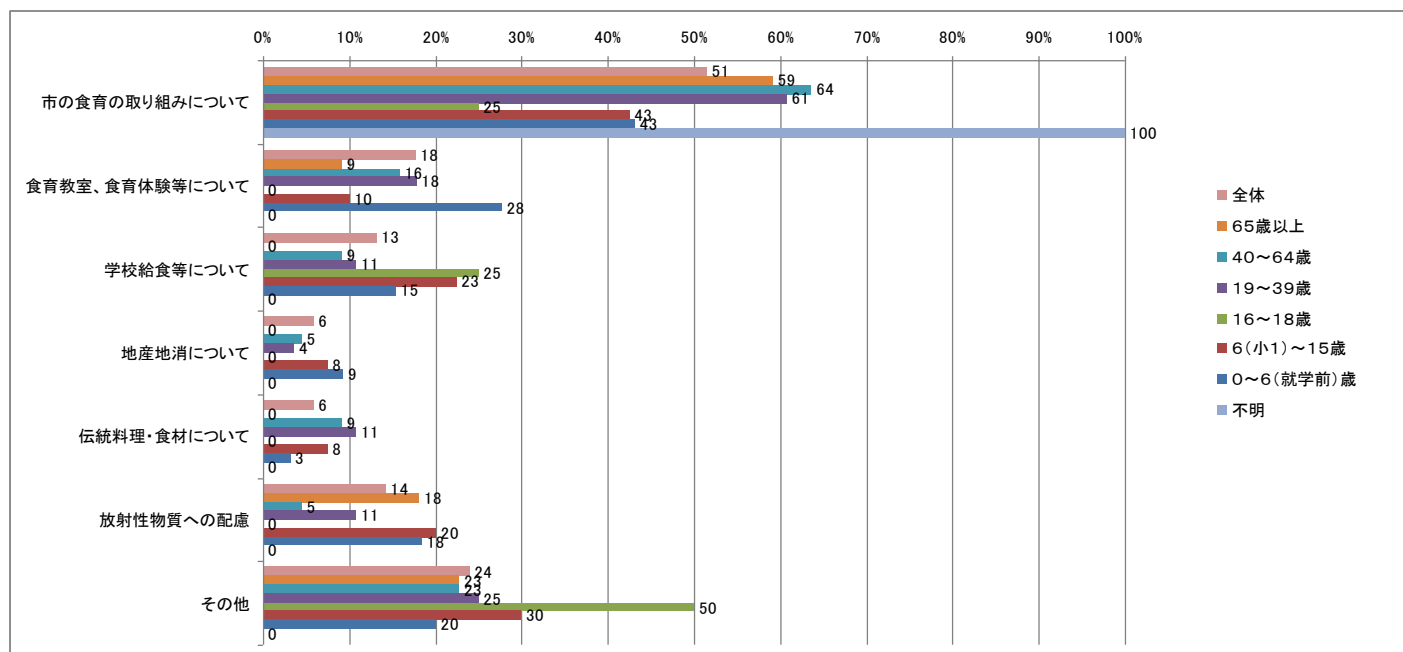


23 いわき市の食育推進についての意見(自由記述、複数回答)

意見を寄せてくれた方は全体の約2割(204人)であり、残りの8割の方は特に意見はなかった。



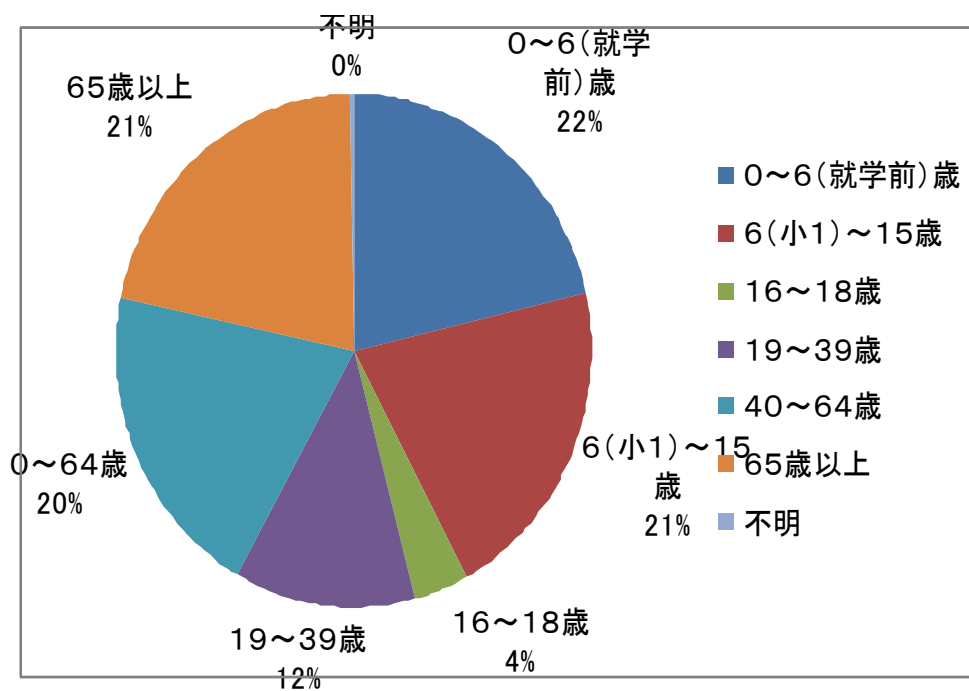
記述のあった意見をカテゴリ別に分類した結果、「市の食育の取組みについて」が51%、「食育教室、食育体験等について」が18%、「学校給食等について」が13%、「地産地消について」が6%、「伝統料理・伝統食材について」が6%、「放射性物質への配慮について」が14%、「その他」が24%であった。(意見を寄せてくれた人数に占める割合)



【アンケート回答者について】

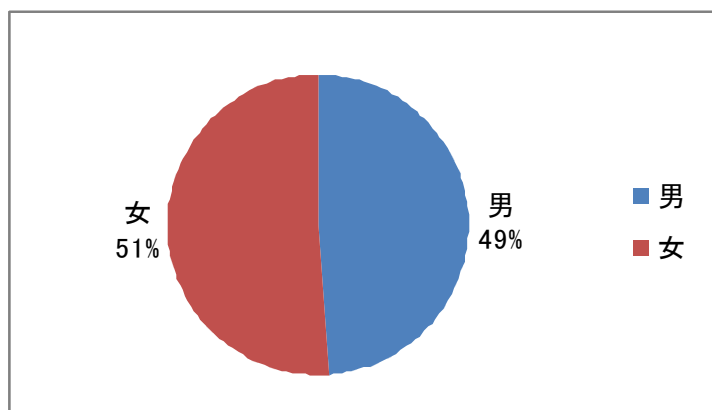
1 ライフステージ別回答者数

ライフステージ区分	0～6(就学前)歳	6(小1)～15歳	16～18歳	19～39歳	40～64歳	65歳以上	不明	合計
人数(名)	232	224	40	132	219	232	3	1,082



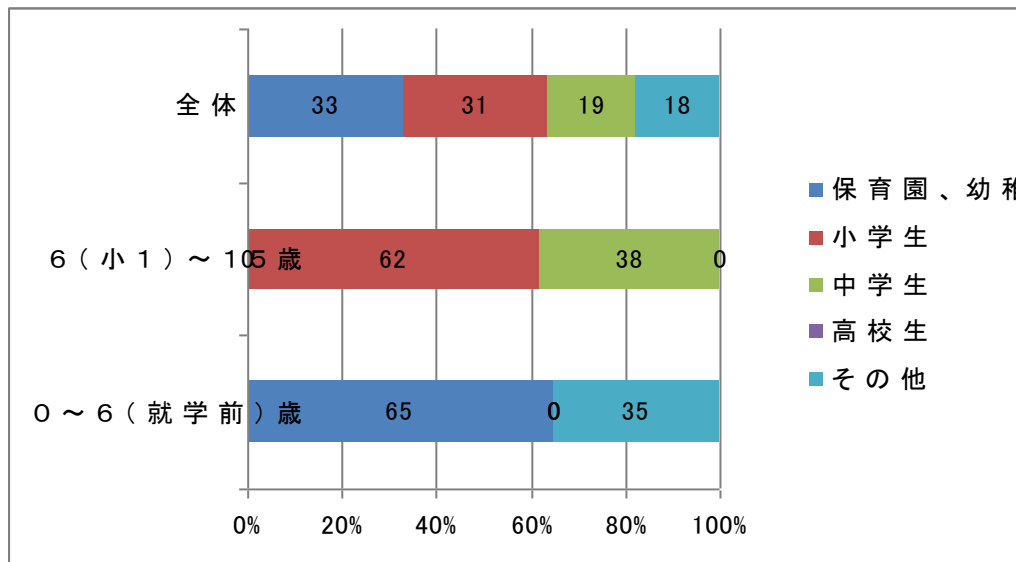
2 男女の割合

性別	人数(名)
男性	527
女性	554
合計	1,081



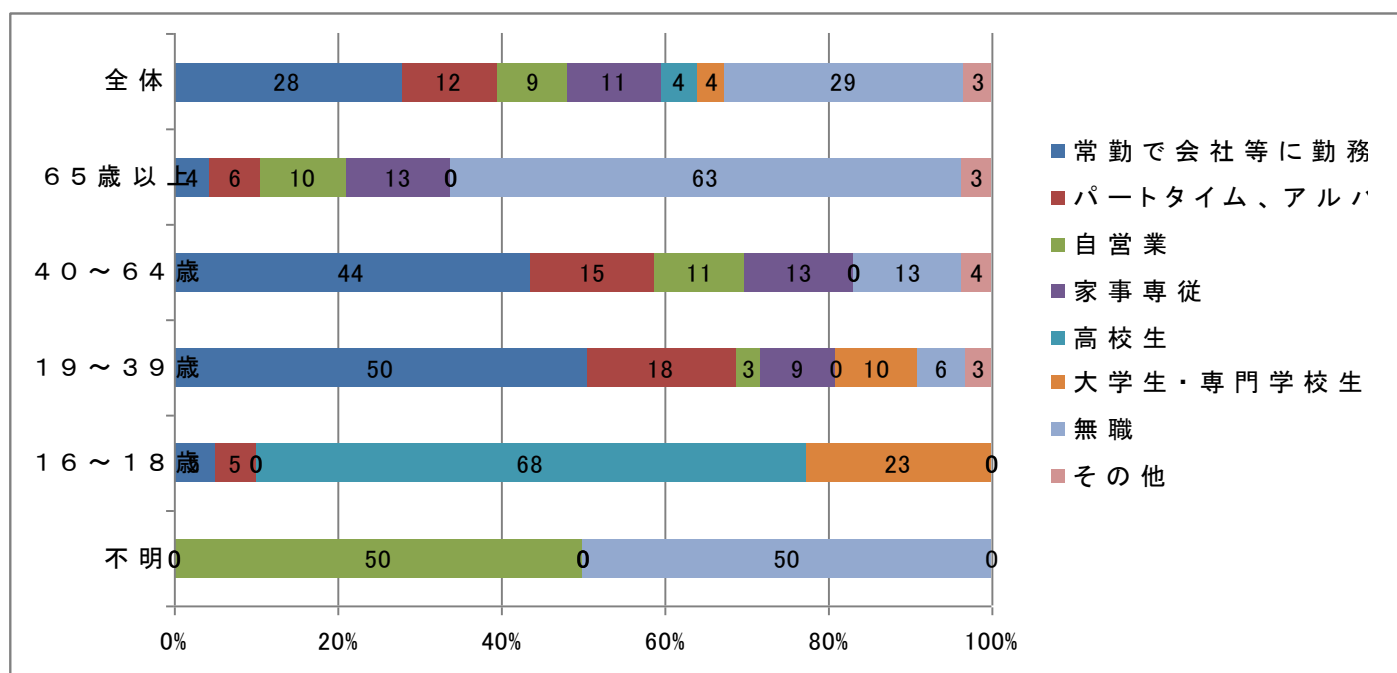
3 15歳以下の方の就学状況等

就学状況等	保育園・幼稚園	小学生	中学生	高校生	その他	合 計
人数(人)	150	139	85	0	81	455



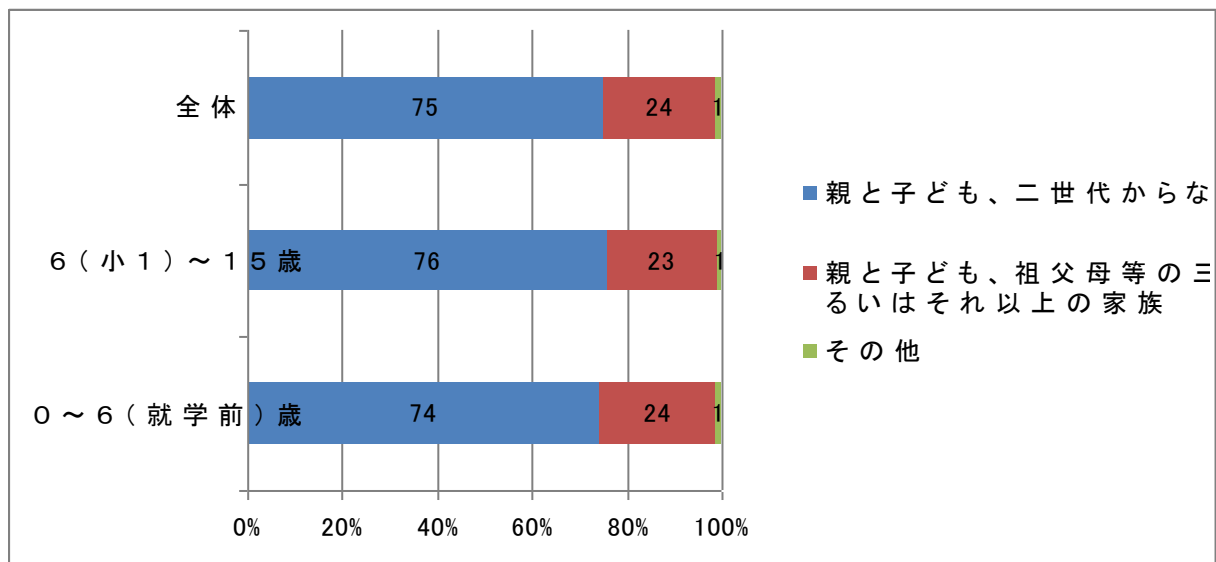
4 16歳以上の方の職業等

職業等	常勤で会社等に勤務	パートタイム	自営業	家事専従	高校生	大学生・専門学校生等	無職	その他	合 計
人数(人)	173	73	53	71	27	22	182	20	621



5 家族構成(15歳以下)

家族構成	親と子ども、二世代からなる家族	親と子ども、祖父母等の三世代、あるいはそれ以上の家族	その他	合 計
人数(人)	341	108	5	454



6 家族構成(16歳以上)

家族構成	一人暮らし	夫婦のみ	親と子ども、夫婦と親など、二世代からなる家族	親と子ども夫婦と孫の三世代、あるいはそれ以上の家族	その他	合 計
人数(人)	77	150	246	67	77	617

